

Bulletin

the Lions Times

District 335-C

12
 DECEMBER
 2014

国際会長テーマ

「Strengthen the PRIDE」

(誇りを高める)

ジョセフ・プレストン



ガバナーテーマ

新たな挑戦

— Step Up Now —

アクティビティスローガン

私心なき奉仕

— 原点にもどろう —

今月の特集

**ジョー・プレストン国際会長
公式訪問**

 第27回 国際平和ポスターコンテスト
 2014年度夏期YCELレポート



District 335-C



ガバナー公式訪問を終えて

約二ヶ月間に渡るガバナー公式訪問も11月8日の4R1Zを最後に無事に終えることができました。これもひとえに335-C地区のメンバーの皆様のご協力によるところであります。懇談会においては、多くの意見も拝聴し、メンバーがライオンズクラブに真摯に向き合い、奉仕活動にたいしての熱い思いをもたれ、ライオンズの高揚へ一層努力をされていることを感じ、大変力強く思いました。会員増強には各クラブの会長の賛同を頂くなかでも、今期私が推進しています家族会員に対してのご理解も賜り、ありがたく10月をもって、正会員を含め162名の増加を見、335-C地区念願の4000名を超えるのも目の前となりました。私のテーマ「新たな挑戦」そして国際会長ジョー・プレストンの「ASK1プログラム」をご理解いただけたのではないかと思います。

最後になりましたが今回のガバナー公式訪問においてメンバーの皆さんと楽しくお出会えできたことを感謝いたします。

地区ガバナー 森井 士朗

ジョー・プレストン国際会長を迎えて



*Welcome to Kyoto
International President Joseph Preston
Strengthen the PRIDE*



爽やかな秋空のもと、ガバナー公式訪問懇談会最終日が無事に終了致しました。地区ガバナー・森井士朗からは「最終日。故郷へ戻ってきた気持ちだ。あたたかく4R1Zの皆様を迎えて頂き心から感謝する。」と、謝辞があり非常に印象的でした。

さて、公式訪問例会におきましては、ライオンズクラブ国際協会2014〜2015年度国際会長のジョー・プレストンご夫妻が、ご来日中のお忙しいスケジュールをさいてご出席を下さいました。森井士朗から国際会長の紹介があり「身に余る光栄だ。」と、歓迎の挨拶がございました。ちなみに335C地区では地区開設以来初めてのことです。

国際会長から貴重なご挨拶を賜りましたので、原文のまま次の通り紹介させていただきます。

“こんにちは！（日本語）

今ここに来る前に二条城に行ってきた歴史・文化を学びました。私は、時代が戻れるなら將軍になりたいと思った。（会場笑い）

メンバー増強や奉仕を深めることLCIFを高めてくれている日本の活動に感動している。森井士朗のテーマであるStep up nowを皆さんにお願いしたい。誇りを高めStep upしていきましょう！

知らない人も誘ってメンバーになってもらう。一人が一人を誘おうを提唱している。皆さんの努力がこの20年間で非常に高いリクルート率を誇っている。さあ始めましょう！みんな仲間になって歓迎リーダーシップをあたえる機会を増やそうクラブを強化し地区を強く国際を強くしていこう。LCIF基金は素晴らしい事業に使っている。どのライオンズクラブも共に支え合い活動を効率化し、話をよく聞き、

退会者を阻止する。今現在のメンバーを大切にしてください。これを私のテーマだ。よいことをしていこう！私達の奉仕活動を増やし、コミュニケーションを取り、リーダーを育成し、誇りを高めていこう！ありがとう。（日本語）”

壇上では、ご自分が作詞作曲された歌の披露があり、会場全体でローアもなされました。

又、新入会員2名（京都むらさきライオンズクラブ）に、国際会長よりラベル・ピンの授与がございました。

“ようこそ！210ヶ国にあるライオンズクラブを代表して歓迎致します。例会に出てメンバーと理解しあい、又、あなたたちも新入メンバーを誘えるようになって下さい。”

クラブ会長とスポンサーの方も登壇するご配慮を賜り、ご慰労、感謝を申されました。国際会長より直々に拝受された2名の新入会員は、一生に残ることでしょう。お時間の都合上30分程度のご滞在となりましたが、ご来賓を賜りましたこと、4R1Z、335C地区を代表して心より多謝申し上げます。

最後になり恐縮ですが、ご同席下さいました国際理事であられる西川義規ご夫妻はじめ、随行者の皆様は厚く御礼申し上げます。そして、送迎の大役を無事に完遂されました地区国際関係委員長山下守男、副委員長森下克己には心からご慰労申し上げます。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人



国際会長セミナー及び、公式訪問並びに歓迎晩餐会

11月7日(金)

ジョー・プレストン国際会長ご夫婦が来日されて、「国際会長セミナー」「公式訪問並びに歓迎晩餐会」が開催されました。会場は、大阪市内のホテル日航大阪で行われました。

まず、「国際会長セミナー」が、13時30分～15時で開催。

国際会長より、国際会長テーマに適した内容で、会員増強を通して誇りを高める、奉仕、クラブ強化、リーダーシップを通して誇りを高める講演をして頂きました。

その後、質疑応答があり、会員増強のあり方、家族会員に考える等、質疑に応じて返答されていました。中でも、335複合地区レオ会長のレオの減少で会員増強するには、どうすれば良いのかとの質疑には、母体のライオンズクラブの責任を問われ、青少年育成に力を入れるよう指導されました。

15時30分～16時30分で、「公式訪問」が開催され、開会挨拶、歓迎の挨拶、L西川義規国際理事挨拶があり、国際会長スピーチがありました。中でも、今回の「公式訪問」の中で入会式が執り行われ、新入会者に、直接国際会長より祝辞を述べられ、ラベルピンを付けられました。

閉会の挨拶で、「公式訪問」を終了いたしました。16時45分～17時で、「歓迎晩餐会」が開宴、西日本のメンバーと友好の時を共有してまいりました。

地区国際関係副委員長 木下 昌平



ジョー・プレストン国際会長夫婦 京都観光

11月8日(土)

ジョー・プレストン国際会長ご夫婦は、昨日のセミナー及び公式訪問がありました。宿泊先のホテル日航大阪を朝9時に出発されて、京都観光に立ち寄られました。

まず、二条城を見学されました。ガイドとして、京都市南ライオンズクラブのL市原光則が、英語でガイド頂き又、この日は天気も絶好の秋晴れで、二条城庭園に満足されている様子でした。

その後、平安神宮を短時間で回り、たくさん写真の収められていました。12時に京都ホテルオークラに到着され、昼食をされた後、「4R1Zガバナー公式訪問」に、サプライズゲストとして出席されました。

森井士朗地区ガバナーの歓迎の挨拶があり、引き続きジョー・プレストン国際会長の挨拶がありました。その中で、森井ガバナーのテーマである「Step Up Now」と、国際会長テーマを合わせ「新たな挑戦をして、誇りを高めて行こう」と挨拶されていました。30分程の出席で京都駅へ向われ、次なる公式訪問先である東京へと向われました。

短時間ではありましたが、335C地区に国際会長を御迎え、有意義な一日となりました。

地区国際関係副委員長 木下 昌平



ガバナー公式訪問懇談会がスタート!

ライオンズクラブ国際協会335-C地区 3R2Z

京都葵LC・京都紫明LC・京都ロイヤルLC・京都パレスLC・京都薫風LC



朝夕が少し涼しくなった候 いよいよガバナー公式訪問懇談会が、8月28日(木)午前10時より、京都ロイヤルホテル&スパ「翠峰の間」に於いて、3R2Zを皮切りにはじまりました。ゾーンチェアパーソン・松原公太郎の開会宣言がなされ緊張感が高まったところで、京都葵LC会長・足田聡より歓迎の言葉「ゾーン内の更なる友好を目指すと共に、ガバナーが提唱されている『新たな挑戦』の主旨を理解し邁進していく」を5クラブを代表して賜りました。このお言葉を受け、地区カバナー・森井士朗より「3R2Zは発足当初から個々に力をもっているクラブの集団であると認識している」と敬意を表し、また前地区ガバナーを輩出された京都ロイヤルLC会長・馬場保成に1年間の慰労の言葉をかけられました。その他に、京都府北部豪雨災害支援資金の申請完了の件、97回トレント国際大会報告、ガバナースローガンの主旨説明、3年後のライオンズ国際協会創立100周年を見据えて、奉仕活動の強化、会員増強を提言し「1億人への奉仕を目指そう!」と力強くエールを送られました。

そして、各クラブの会長より今期の会長抱負及び方針について現況報告を含め発表がありました。京都葵LC会長・足田より「青少年健全育成の一環として朱雀高校定時制生徒への就職支援、面接・就職準備セミナー 社会人になるためのマナー講座」に力を入れていく旨とした心強いご表明に続き、京都紫明LC会長・村田和久より「祇園祭における銚子くり、ひきぞめ、巡行協力などの労力アクティビティに力を注いでいく、また姉妹提携先にフレンツェLCがあり、奇しくも京都市とフレンツェが姉妹提携50周年を迎えるに当たるといふ。何か大きな協力ができようクラブ内で協議していきたい」旨、京都ロイヤルLC会長・馬場より「前年度はガバナーを輩出できた。誇りある歴史の1ページを胸に刻んで奉仕活動に更に邁進する」旨、また第2副会長の・楠本健吾からは「障がい者支援に尽力していく。日常では経験できないような健康者との繋がりを深めていくことを立案していく。」「旨のあたったかい決意を頂戴しました。続きまして、京都パレスLC会長・岸正博より「美しい(心の)奉仕。日々の行いに人の感動を呼ぶ」ことを念頭にの活動を進めていく。特に15年間続いている銅駝美術工芸高校の生徒・ヨーロッパ美術研修派遣支援(年間2名 随時帰国報告会及び例会招致の実施)は今後も続けて行きたい。」「旨、そして京都薫風LC会長・森久子より「当クラブらしく、何事にも愛をもって、自然体で女性の感性を最大限に生かした奉仕活動を心掛けていく。中京もえぎ幼稚園での茶道指導をはじめ、京都おもてなし音絵巻(東日本復興チャリティ)にも参画協力をし、幅広い世代の方々に対し一皿のお茶を通じて奉仕活動に尽力していきたい。」「旨、女性会長らしいご提唱を賜りました。

最後に、第1副地区ガバナーの・永田賢司より「3R2Zの心温まる力強い意志を感じました。」「とご挨拶がなされ、最初の訪問懇談会で私たちはこの上ない勇気を頂戴することができました。この後の懇親例会でも始終なごやかな雰囲気包みこまれ、会場一体笑顔が絶えないひとときであったことは申すまでもございません。この日の為に、数日前より、そして当日も朝早くからご準備にかかっていた関係各位皆様のご尽力に心より御礼とご慰労を申し上げます。ありがとうございます。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人

京都府北部豪雨支援義捐金



2014年8月16日の記録的豪雨による被害を受けた335-C地区5R2Z内福知山ライオンズクラブ・LCIFより10,000ドルの緊急援助交付金が送られました。また被害が一番大きかった5R2Zへは300,000円が、また5R1Z、3Zへそれぞれ100,000円の335-C地区緊急援助金が、公式訪問例会において贈呈されました。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人

表敬訪問

京都市長表敬訪問

8月13日 12時

京都市市役所に、門川大作市長を表敬訪問いたしました。
市長にはいつもの和装でお迎え頂き、森井士朗ガバナーとの挨拶、握手から始まり
ました。

森井ガバナーが今季特に力を入れている、会員増強と青少年育成については市長
も同意されて、女性クラブ結成を喜ばれ、もう一つ結成したらとのことのお話も出、ガバ
ナーは家族会員で、女性メンバーが増えるの説明されました。また青少年育成に関
しては、ガバナーの私心無き奉仕のもと、少年少女たちを後押ししてゆきたいとの
意見に、市長も小学生にお茶、お花を英語で指導してゆくと応えられました。

またラグビーワールドカップを府・市が協調し、京都で開催すると力強くお話にな
りました。

市長より、近年LCの活動が新聞に載らないが、もっとPRしたらどうかとの意見
も頂きました。

最後に、ガバナーよりバナー、多目的ピン、記念品をお渡しし、訪問は終わりました。

PS 京都市は2014年 Travel+Leisureワールドベストシティ1位に選ば
れました。



随行人 水田俊宏幹事 佐竹不二郎会計

梅山克啓PR委員長 古澤昭人運営委員長
今回 菅谷寛志府会議員にお世話になりました

京都府知事表敬訪問

8月13日 13時

京都府庁に、山田啓二知事を表敬訪問いたしました。

知事は、ロシア、スイス(姉妹都市)外遊帰り後の訪問にも、お疲れの様子もなくお迎
え頂き、和やかに話が進みました。その中で青少年育成に関し、ガバナーの意見にそ
の通りですと話され、LCの奉仕は大変貴重であり、府においても外国人(観光客含
む)に対応できる若者を育成したいと話されました。

地方では少子高齢化が進み、人手不足、空き家が増えており憂慮している。ぜひ青
少年育成を推進してほしいとのことでした。

335-C地区は京都・滋賀・奈良で構成されていますと話しますと、半分冗談、半
分本気で、奈良に対し関西広域連合との協力、入会を勧めてくださいとのこと、ガ
バナーはこの後奈良も訪問しますのでお伝えします(笑)と。

最後に、ガバナーよりバナー、多目的ピン、記念品をお渡しし、訪問は終わりました。

PS 京都市は2014年 Travel+Leisureワールドベストシティ1位に選ば
れました。



随行人 水田俊宏幹事 佐竹不二郎会計

梅山克啓PR委員長 古澤昭人運営委員長
今回 菅谷寛志府会議員にお世話になりました

奈良県知事表敬訪問

8月19日 9時

早朝9時、奈良県庁へ荒井正吾県知事を表敬訪問いたしました。

ガバナーの挨拶の後、今季は青少年育成に力を入れている、東京オリンピック・パラリンピックには、現在小中学生が16・17歳となります。奈良も観光都市であり、多くの外国人が訪れる事となります。その折、対応できる若者を育成することが大事であり、LCは新たなアクティビティを行うとの説明に、京都嫌いである知事が珍しく京都市に対し観光と教育は関心も尊敬もしている。奈良も参考にして行きたいし、協力もするとのことで、一同顔を見合わせました。

京都府知事の話になるといつもの調子に戻り、陶芸、お寺の話になりました。奈良は唐物、渡来物で成り立ち、外国風が基調に対し、京都は歴史も浅く(奈良に比べ)国内物との説明がありました。

最後にいつものように、バナー、多目的ピン、記念品をお渡しし、退席しました。



随行人 水田俊宏幹事 佐竹不二郎会計
梅山克啓PR委員長 古澤昭人運営委員長
今回 L中野雅史、L飯田喜代視にお世話になりました

滋賀県知事表敬訪問

9月19日 13時

三日月大造知事を訪ねて

「私も『新たな挑戦』です!冒頭に三日月知事がご発声され、地区ガバナーL森井士朗と固い握手で表敬訪問が始まりました。」

三日月知事より「ライオンズクラブの連日における地域への奉仕活動に感謝している。いつも『見える形』で地域に対してPRしてくださっている。本当にうれしく思う。』そして、『滋賀県の諸先輩方が築いてこられた伝統、文化、産業をしっかり継承して、先人のご意見を拝聴した上で県政に生かしていく。』と感謝と決意のお言葉を賜りました。これを受けて森井ガバナーからは、『次のステップを踏んでいく。次世代を担う人材の育成、一億人への奉仕を遂行したい。』と、2020年オリンピックに向けた青少年育成、観光招致についても尽力していきたい旨、言上されました。

終始なごやかな談議の中で、びわ湖をはじめ地域環境に配慮したお米「みずかがみ」提唱のお話や大津京、信楽の伝統、官兵衛列車のことなど豊富な話題で時間はあっという間に過ぎていきました。今後、三日月知事は水環境技術の伝達や観光PRため中国、マレーシア、ベトナムへのご来訪が決定しているとのこと。お忙しい時間を縫ってのご対応に感謝申し上げますと共に、ご多忙の折、お身体のご自愛を願い、我々としても滋賀県におきましての更なる奉仕活動への邁進をお誓い申し上げる次第でございます。



随行人 水田俊宏幹事 佐竹不二郎会計
古澤昭人運営委員長 岸本 哲運営委員
今回 L南 英三、L中嶋秀忠にお世話になりました

JCガバナー対談

日時:2014年10月4日(土)／ 場所:ホテルポストプラザ草津 提供

ライオンズクラブ国際協会335-C地区 森井士朗ガバナー
公益社団法人日本青年会議所(JC)近畿地区協議会 西村忠浩会長

対談

司会 地区PR情報・IT委員長 梅山克啓



梅山: 本日は大変お忙しいお二人に、対談のお時間をいただき、ありがとうございます。同じ奉仕活動を行っている若い人の団体であるJCの方と我々ライオンズクラブのガバナーの対談はどのようなことになるか非常に興味がありましたので、今回企画しました。

西村: こちらこそ、こういう機会を設けていただいて、楽しみにしております。

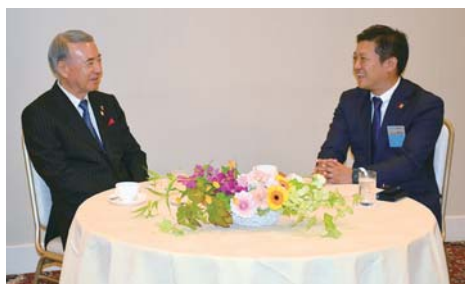
森井: 若手経営者の率直な意見を楽しみにしていますので、よろしく願います。我々ライオンズクラブの335-C地区は地域としては京都・滋賀・奈良で、かつては7500名ほどのメンバー数でしたが、最近ではなかなか4000名を超える事が難しい状況です。JCの会員数の状況はいかがですか。

西村: 我々もかつては日本全体で7万名の会員がいましたが、40歳で卒業ということもあり、卒業する人数を新入会で補充することが難しく、現在では3万4千名程度と半減している状況です。それでも日本の会員数は世界で一番多くて、アジア地域の活動が比較的に活発です。JC-基金への提供額も日本が一番多く、基金の運営費は資金の運用益で賄われています。

梅山: JCも会員数では苦勞されているみたいですが、世界的には日本JCは存在感があるようですね。

森井: 我々もLCIFという、世界で一番評価の高い基金があります。ライオンズクラブもJCも、アメリカ発祥の組織ということで、組織体制が似ているところがありますね。ところでJCの主な活動はどのようなものですか。

西村: 日本JCレベルでは国家レベルの問題にも取り組んでいます。各地域の単体の青年会議所ではそれぞれ活動内容は異なりますが、我々の三信条である「奉仕・修練・友情」をベースにして、まちづくり、ひとづくりの活動を行っています。



を企画するなどしています。ひとづくりは青少年育成のため、例えば全国各地に寺子屋を作って、我々と子ども世代の間である大学生などを巻き込んだ活動を行ったりしています。

梅山: 「まちづくり」と「ひとづくり」ですか。

森井: 青少年育成は我々ライオンズクラブも力を入れています。ライオンズクエストという学校の先生を対象としたプログラムの普及を行っています。これは先生が子ども達にライフスキルを教えることができるようになることが目的のプログラムです。

西村: 学校の先生を対象としたプログラムというのはおもしろいですね。親と学校がしっかりとした教育を子ども達にしていけることが大事だと思います。

梅山: 森井ガバナーは本年度「新たな挑戦」をテーマにされています。

森井: ライオンズクラブは3年後に100周年を迎えます。また次年度の国際会長は日本から輩出することになっています。そういう事も踏まえて、本年度は新しい事にチャレンジして活動していこうとしています。2020年には東京オリンピックが開催されますが、今の子どもたちが成長して日本を支えていける大人となるのを促進するよう、見えない奉仕をして行きたいと思っています。また家族会員制度を本年度は推進し、家族全員でライオンズクラブの活動をしていけるようにしたい。また新しい事にチャレンジしていくためには、若い会員を増やしていきたいと思っています。JCメンバーが40歳になり卒業された後は一人でも多くライオンズクラブに入っていっていただきたいと思っています。

西村: 我々JCのOBでライオンズクラブに入会されている方は、たくさんおられますが、入会を強制される恐さもあって(笑)、ライオンズクラブの活動について、こうしてじっくりお聞きした事は初めてです。とても勉強になりましたし、今後の活動で連携して何かできないか考えるのもおもしろいと思います。

森井: 私もJCの若い人たちの行動力に感銘を受けました。ぜひその経験を卒業後、ライオンズクラブに生かしてもらいたいと、ますます強く思うようになりました。西村会長も卒業後は是非ライオンズクラブに入会をお願いします(笑)。

梅山: 最後にガバナーからの勧誘もありましたところで(笑)、時間となりました。本日は対談にご協力いただき、ありがとうございます。



第1回 キャビネット会議



して、前地区キャビネット役員の皆様、ホストクラブ会長様お一人一人に感謝状贈呈がございました。心からの慰勞を申し上げる。森井に対し、受賞者の方々は、大役を果たし、つきた安堵の面持ちで、私たちには和やかな風景を拝観いたしました。本当にお疲れ様でございました。

祇園祭で賑わう京の町。7月23日、リーガロイヤルホテル京都に於きまして第1回キャビネット会議が開催されました。地区キャビネット幹事、水田俊宏の司会進行にて、地区ガバナール森井士朗の開会コングが鳴り響き、開会宣言がなされました。皆様には大変ご心配をいただいておりまして、第2副地区ガバナールも、神崎守（京都やわたライオンズクラブ）に決定し、いよいよ全員一丸となり、出航の日を迎えましたところであります。神崎のご挨拶の中で「全身全霊をかけて」という一言が印象的でした。森井ガバナールのご挨拶、そして名譽顧問会議長、前地区ガバナール児玉保次のご挨拶に続きま

さて、議案書に基づき報告事項が順次に進行してまいりました。第97回トロント国際大会がバナー帰朝報告につきましては、森井ガバナールより写真を上映され、トロントの町並やジャカガバナールエレクトロセミナーをはじめ、インターナショナルブランド、晩餐会の様子、ジャパニーズセブション、閉会式におけるまで報告を賜りました。特にエレクトロからガバナールへの正式就任の瞬間は動画になっており、感慨深くスクリーンを見つめられておりました。

会議は、公式訪問例会に際しての日程及び懇談会時のお願ひ事項、特に二度統計をとってみたい」という主旨から家族会員の動静、継続アクティビティの詳細を求めておられました。

また、会議後半では、YCE・レオ委員長・大高友一より、ホストファミリーの派遣及び受け入れに対してのご配慮とお力添えをさらに頂きたい旨、強くご要望がございました。同内容にて、FRI・Z・ゾーン・チエアパーソン・上藤野泰志より、ガバナールが掲げられた「見えにくいアクティビティ」として、受け入れを広く推進していくてほしいと願う旨のご発言がございました。その他として、カルチャーカードがなくなっても、他クラブへの例会出席を積極的に推進してほしい旨、また薬物乱用防止に尽力されている青少年育成委員会から、これらについても委員会への理解をもっと深めてほしいなど活発なご発言がございました。これらの件について、森井ガバナールからは、必ず推進していく旨、皆様のご努力に感謝申し上げますとご返答されておりました。

最後に森井ガバナーから
今期は会員(家族・女性)増
強の推進、GMT、GLT委
員会が根幹となり次世代
リーダーの育成に努め、未
来を担うガバナー、ツーン
・チエパウソンをどんな
輩出していきたいと熱く宣
言されておりました。今期
1年間、皆様のご協力を賜
りながらしっかりとキャビ
ネット運営に尽力致します。ど
うぞ宜しくお願い申し上げま
す。

地区キャビネット

運宮委員長

古澤 昭人



ライオンズクエストプログラムセミナー



梅雨も明け、本格的な夏の日差しを感じている中で、7月25日(金)リガロイホテル(東京都に於きま)して地区役員、各クラブたくさんの皆様がご参集のました。ライオンズクエストプログラムセミナーが開催されました。ライオンズクエスト副委員長(本橋行治)の司会進行により、開会のご挨拶を河原善雄委員長が、クエストの基本を知って頂き、道徳・対人関係、地域の関わりをもっと深く広げてクエストがカバードできる、というふうに推進していきたい」と元氣よく宣言されました。続きまして、地区ガバナーの(森井士朗)からは「ライオンズクエストの創始者ともいえる名誉顧問・元協議会議長、3335複合地区ライオンズクエスト委員長(八島隆)へ心から敬意を表する」とのお言葉をお頂戴し、これを受けて、(八島)からも「現在の教育環境に不足していること、すなわち『生きている力』、学校では教えてもらえないこと」をうかがいます。区は全国的に見ても推進力は抜群だ！もっと理解を広めて邁進しよう。」と、昨今の凶悪犯罪などを例にして力強く協力を要請されました。

今回は、講師として京都翔英高等学校学年主任兼情報化主任の足達亮祐先生をお迎えし、「思春期のライフスキル（生きる力）教育」について講話を賜りました。8年前の初導入以来は小学生版を和訳し高校生版にプログラムを組み替えて始め、校内での理解を深めるためコントロール、問題解決力などへの取り組み、社会福祉として献血の推進（毎年2月に3年生2000人を対象）を推進していることのご紹介、そして心にかけている点としてエネジャイザ（単にイスに座って一方通行的な話を聞くだけでなく、体を動かすことによって講義自体に一体感を共有する）を掲げていることもお話しいただきました。また、昨年に選抜高校野球大会に硬式野球部が出場した際にユニフォームの袖に「宇治市」の腕章をつけて地域をアピールするということ、地域社会との関わりも教育の一環として大切に位置付けているとご教授賜りました。

続きまして、ライオンズスクエスト委員会アドバイザー・ライフスキル教育プログラム説明員であられる「南井孝一」より「ライオンズスクエストライフスキル教育プログラム」についてご説明を頂戴しました。1975年にリック・リトル氏(米国)が自らの辛い体験を元にプログラミング・ムーン上映で紹介「聞き上手チェックシート」を配布して、田中義信(栗東)と協力してスクリーン舞台上で演技にて「聞き方マナー」を披露されました。「南井からは、永い時間を要するかというお話でしめられました。質疑応答では、
 LC)、「藤村幸二(SR12ゾーン)チェア、アバソール、中村孝行(綾部LC)より、フットーアップ研修の実施要望やワークシヨップ開催日程調整、最低挙行人数の確認等々の積極的な質問をいただきました。ライオンズスクエスト委員会アドバイザーの「下田吉美の適切なご返答、そして推進への激励を賜り、郷田英夫副委員長が「本会でご参集の御礼」の閉会ご挨拶をされて大変有意義なセミナーが終了致しました。皆様、長時間にわたり本当にありがとうございました。」




地区キャビネット運営委員長

古澤 昭人



2014年度 夏期YCE来日学生歓迎会

7月27日、リーガロイヤルホテル京都にて2014年夏期YCE来日学生歓迎会が、フィンランド、台湾より2名の来日学生を迎え、森井地区ガバナーをはじめ、地区役員、ホストファミリー、ホストクラブ、YCEのOB OG生の皆様多数で参加いただき、和やかに執り行われました。

初めに森井地区ガバナーより来日学生へ歓迎の言葉とホストファミリーへのお礼の挨拶を述べられました。続いて、大高地区YCE・レオ委員長より、ホストファミリー、ホストクラブの皆様に変なご無理をお願いした旨の感謝の意と来日学生に対して短い滞在が充実したものとなるよう願う旨が述べられました。

その後、森井地区ガバナーと来日学生とのバナー・ピン交換が行われ、地区ガバナーからは合わせて記念品として富士山の絵のジグソーパズルが贈呈されました。大高委員長からは、記念品として、祇園祭の絵柄の扇子が来日学生に贈呈されました。

引き続き、お茶を頂きながらの歓談となり、来日学生の日本語スピーチでは来日学生が質問攻めになる一幕もあり、和やかながらも盛り上がった歓迎会となりました。また、この日のために多数のYCEのOB OG生が駆けつけてくれ、来日学生と連絡先の交換を行うなど交流を深めてくれたようです。

最後に新川地区YCE・レオ委員長より閉会の挨拶があり、短時間ながらも充実した歓迎会を閉会しました。

地区YCE・レオ委員会



2014年度 夏期YCE派遣レポート

この度、オーストラリアに行く機会を頂きありがとうございます。私は豪州西部の多くの牛やカンガルーに出会えるバンバリー市というインド洋に面した人口約54,000人の街で生活しました。

人との出会いを大切にされているFoster夫妻はとても気さくな方々で、日本からの私を温かな笑顔で迎えてくださいました。私のためにたくさんプランを用意してくださっていました。ご夫妻の車で西部最南端のアルバーニーへの小旅行に行つた時には、巨岩・奇岩の広がる絶景を目にすることができました。自然の躍動感あふれる岩の形に圧倒されました。滞在中は、ご夫妻のご親戚や近所の方々がよく訪れました。一日3回のティータイムではお茶とお菓子が用意されましたが、そのうち私もその習慣になれ自ら用意できるようになりました。また、Mr. Fosterが所属するAustralind LCの活動へ参加させていただきました。多くの会員の方々と出会うことができました。例会では京都LCでいただいたバナーとバッジを通じて、会員の皆様との会話が弾みました。その他にも、商店前でのチャリティーラッフル・ホットドック販売・早朝からの新聞配達準備に参加させていただきました。(もちろんティータイムつきです)そして最終日には私たち派遣生のためにサパーパーティーをしてくださり、Foster夫妻の家に約20人ものLCのメンバーが集い、派遣生を代表して感謝のスピーチを披露させていただきました。

滞在中、ホストファミリーのお蔭で多くの方々に出会えました。会う人、会う人になんか話したい(good day)という挨拶はとても印象に残りました。気持ちを入れて相手の目をみて笑顔で一言、これはコミュニケーションの基本ですが、SNSに頼りがちな現代人が改めて学ぶべきことだと気づきました。

このYCEの派遣より、多くの人々との出会いやさまざまな経験をさせていただきました。京都LC様、心より感謝申し上げます。

派遣先…オーストラリア
京都LC 栗栖 詔子



ドイツ文化とのふれあいを通して

派遣先…ドイツ
京都ミレニアムLC 林 玲可

三週間をドイツで過ごして学ぶことがたくさんありました。一点目はドイツ人の人柄の良さです。私は空港からホームステイ先の最寄り駅まで一人で行かなければならず、電車に乗ったものの、座席が分らず困っていました。すると複数のドイツ人が説明してくださいました。不安でいっぱいでしたが、とても助かり、なにより嬉しかったです。

二点目は生活面です。日本での生活と大きな違いを感じたのは食事です。ドイツは米ではなくパンが主食でした。日本では見たことがない食材が多くありました。もちろんソーセージは絶品でした。

そして驚いたことは、八月でもドイツは涼しかったです。日本は猛暑で湿度が高いですが、ドイツは予想以上に涼しく気候の変化が激しいので、冬服を着ている人も少なくありませんでした。日本に住んでいる私にとっては、寒く感じました。しかしドイツ人にとっては、冬の気温がマイナス20度を超えることも多いので、日本人より寒さを感じにくいことが分かりました。

三点目は自然豊かなことです。自然を利用した酪農や、風力発電や太陽光発電など、地球に優しい国でした。

三週間世話をしてくださったホストファミリー、このような機会を与えてくださったライオンズの皆様には本当に感謝しています。両親がいてくれることのありがたみを実感しました。支えてくださる人に感謝して、この経験をこれから繋げていきます。



オーストリアへ行って

派遣先…オーストリア
京都北LC 山田 彩香

私は7月18日から8月15日にかけての約1ヶ月間オーストリアのウィーンへ派遣留学させていただきました。最初の1日目はヘインズさんご夫婦が空港まで迎えに来て下さりご夫妻のお宅へ案内してもらい泊ホームステイをさせていただきました。その翌日の19日から8月2日までの2週間21カ国もの外国人とキャンプ生活を体験しました。なんと日本人一人いやアジア人一人という状況からスタートしました。

こちらでは主に山登り、ラフティング、スィミング、市内観光(古城、美術館、博物館、国会議事堂)へ皆と行動を共にし、語学とそれぞれの国の文化を学びました。

そこで仲良くなったのがウクライナのオレナという21歳の女の子でした。日本に興味を持ってくれて楽しく過ごす事が出来ました。しかし最初の3日間英語が通じず、ホームシックにかかっていたように思いましたが、勇気を出して話しかけた時から、コミュニケーションが取れるようになり楽しくなってきました。その話しかけた子がオレナです。どこへ行くとも積極性と勇気は必要なんだと確信しました。

残りの2週間は4人家族のホストファミリーのお宅でホームステイをさせていただきました。HostfamilyはIT企業のエンジニア、Jostinacは法律事務所で働く共稼ぎのお宅でした。

長女は17歳の18歳のマラ、次女は15歳の17歳のナタリーと過ごさせていただきました。普段は両親は仕事で不在の為、私の世話は長女のマラちゃんしてくれました。

実は、長女のマラはベジタリアンでお肉、卵、牛乳も口にしない女の子だったので、食事に困りました。私の家ではホームステイ先のように観光に連れて行ってもらったり、現地のライオンズクラブのメンバーの方々とお食事もさせていただきました。また、私はホストファミリーのために日本料理である「お好み焼き」を作りました。食材は持参してだったので現地で購入するのはキャベツと卵と肉とマヨネーズと計画していましたが、マラが食べられないものがあつたので、シンプルなかき揚げ焼きになり、あの美味しいお好み焼きを作ることが出来なかつたかも知れないと思えました。教訓として、お寿司が蕎麦かそうめんの方が良かったかも知れないと思えました。

あつという間に30日は過ぎ、8月14日に日本へ向かう飛行機で帰国しました。

私はオーストリアで現地の方に日本文化を伝え、さまざまな国の文化も吸収することができ、とても貴重な1ヶ月を過ごさせていただきました。これもライオンズの皆さまが与えて下さった御蔭だと思っています。本当に有難うございました。



初めての海外

派遣先…ニュージーランド
水口LC 西山 遼

僕は一度も海外に行ったことがありませんでした。行くとしても、大人になってからだと思っていました。まさか、高校二年で一か月も海外に行けるとは思ってもいませんでした。

NZに行くことが決まり、英会話の本やガイドブックなどを買い、少しでも多くの知識を頭に入れておこうとしていました。今まで海外に行ったことのない自分にとっては何もかもわからない状態だったので、不安な気持ちもありました。でも、初めて海外に行けるといふ喜びの気持ちのほつが強く、行くのがとても楽しみでした。

そして、出発の日がやってきました。NZに行く派遣生10人は、空港で初めて会うので最初は会話もほとんどありませんでした。それでも、少しずつ打ち解けていき仲良くなりました。

NZに着いてから最初の10日間は、みんなで行動し牧場や果樹園などたくさんの方に連れて行ってもらいました。どこのホストファミリーもとても親切で、英語があまり得意でない自分にもわかりやすく説明してくれるとても優しい人達でした。

日本と文化や習慣が違う所も色々ありましたが、特に困ることとなくすぐに馴染めました。一番驚いたのは、予想以上に自然がいっぱいで羊や牛を見ない日がないほどたくさんいました。

初めての海外を高校生で経験でき、1か月もホームステイできたことは夏休みの最高の思い出であり、一生の思い出でもあります。LCの方々や家族の支えがあつたからこそ経験できたことだと思っています。



2014年度 夏期YCE来日レポート

2014年日本の夏

アッデ・レウナネン Atte Reunanen (フィンランド)
第3ホストクラブ 愛知LC
ホストファミリー 中川 裕雄(フン・ライオン)



たくさん思い出がありすぎて、何を書いて良いのかわかりません。なので、私が日本でしたこと、感じたことを書くかと思っています。何よりも初めに、日本に来て多くの経験ができたことを嬉しく思っています。私はこの留学は自分自身が人として成長するための一生に一度の貴重な経験だと思っていましたし、実際にそうであったと思います。私は成長してフィンランドに帰ることができました。私は、他にやり残したことはないと言いつけるほど、この留学は私にとって良い経験になりました。私は4つの家族3つの町でホームステイをしました。どの家族もとても居心地よく楽しく過ごすことができました。日本では出会った全の方に、歓迎してくれたことを感謝しています。関西空港に着いたとき、私は帰りたいかと思う、日本での生活は心配しました。飛行機のドアを開けたとき、暑さ高い湿気を一気に感じたからです。日本の気候はフィンランドとはとても違いました。空港に着いたあと一緒にいた人たちが別れを言うところへ行きました。私は初め、2日間京都、2日間大阪で、観光したり街中を散歩したりして過ごしました。初めてのホームステイ先である網野ライオンズクラブの人たちと、観光したり街中を歩いたりしました。そして祇園祭に行ったりあと丹後に行きました。そこでもとても良い時間を過ごすことができました。泳ぎに行ったり釣りに行ったり、その他にも、ラジオインタビューをしたり、剣道の練習なども経験しました。22日に丹後を離れ、滋賀にきました。私の2番目のホストファミリーは近江八幡に住んでいて、彼らは英語で会話してくれたので理解できたためとてもよかったです。私はそこにいる間、広島県や大学、老人ホームなどに行きました。3番目のホストファミリーも近江八幡に住んでいて、息子さんとうつ1つの家で過ごしました。彼らも英語が話せたので会話には困ることなく過ごせて良かったです。彼の姉妹やいとこと一緒にボーリングや買い物にいたり遊びに出かけたりしました。そして、最後のホストファミリーは八日市に住んでいました。娘さんは英語を話せるけど、京都の彼女の大学の近くにに住んでいました。その家族とは、USJや嵐山、マンガミュージアムなどに遊びました。USJはとても楽しいところでした。その家族と一緒にいる間、草津にあるYCEのOB生に家に、他の大学生と一緒に泊まりました。彼らと一緒に映画を見に行ったり買い物に行ったりしました。この休み期間は、家族と過ごす時間の短いものとなりました。しかし、ライオンズの方と色んなことを一緒にすることができました。私は企画してくださった集まりやイベントに参加しました。京都に観光に行ったりバーベキューをしたり、たくさんのお土産をいただきました。色んな経験をさせていただいたことに本当に感謝しています。彦根でのキャンプは本当に楽しかったです。今回の留学の全ては人生を変える素晴らしいものとなりました。私は日本が恋しくなり、いつか戻ってくるでしょう。

Time Files

アンディ・クワン・ユー・ティン Kuang You-Tin (台湾)
第1ホストクラブ 竜王LC
第2ホストクラブ 八日市LC



時間は飛ぶように過ぎます。今日は日本に来て20日目です。日本での滞在期間に私は多くの日本の文化、歴史、生活習慣を学びました。例えば祇園祭です。それは京都で毎年行われる日本でも有名な祭りの一つです。7月中取り行われ、7月17日〜7月24日には山鉾巡行が行われ、多くの人で賑わいます。山鉾の一つは京都の祇園地区の名前が付けられています。私は歴史を学ぶのが好きです。私のホストファミリーの皆さんは、私を多くのお城や寺に連れてくれました。安土城、比叡山延暦寺、清水寺、大阪城に連れてくれました。私のお気に入りの場所の一つは大阪城です。この城は日本で最も有名な城の一つであり、安土桃山時代の終わり17世紀に日本統一に大きな役割を果たした城です。西暦1614年〜1615年に日本の歴史の中で重要な戦いが有りました。大阪の陣で、それは豊臣一族と徳川幕府の戦いで豊臣一族が敗れました。大阪の陣は冬の陣と夏の陣があり、1614年〜1615年の一年間続きました。徳川の包囲は幕府の成立への武装勢力に終止符を打ちました。この戦いは年号が慶長から元和に変わった時まで続いた為、元和休戦と呼ばれています。この様に歴史についてとても興味があります。私はホストファミリーとホストクラブの皆様には、特別な感謝を伝えなければなりません。滞在期間中、私は日本人はともて親切で礼儀正しい人達だと思います。日本人はいつもお辞儀をします。例えば人と会うとお辞儀をして「宜しく」と言います。そして別れる時にはもう一度お辞儀をして「有難う」と、「すみません」と言います。それと、日本の多くの食べ物美味いのです。私の好きな食べ物カレーや寿司です。しかし、私は納豆と抹茶が好きにはなれませんでした。私はこの活動に参加出来てとても幸せです。そして、日本の皆様や美しい日本を恋しく思うでしょう。「Thank you Japan! ありがとう!」

明日の青少年を考える会



2014年8月18日(月)10時30分より、リーガロイヤルホテル京都に於いて「明日の青少年を考える会」が開催されました。

地区ガバナール森井士朗をはじめ、第1、第2副地区ガバナール、1R、9Rゾーン・チエパ・ゾーン、地区青少年関係委員会、335-C地区内の各クラブ会長、幹事、担当委員長などクラブ関係役員、レオクラブ、合計114名のご出席をいただきました。

10時30分定刻どおり、地区青少年育成副委員長し入柿浩二の司会のもと開会され、開会挨拶として地区青少年育成委員長し小西秀樹より、今回の「明日の青少年を考える会」のテーマについては、地区ガバナール森井士朗が掲げられた地区アクティビティスローガンに基づいたものであること、また新たなアクティビティの内容について一定説明があり、各

クラブに新たなアクティビティの検討と取り組みをお願いされました。

地区青少年育成副委員長し今村絹世より講師並びに地区役員の紹介、次に地区ガバナール森井士朗より挨拶があり、続いてアクティビティスローガンの青少年健全育成事業の一環とした新たなアクティビティへの「想い」と方針をお話されました。

① 青少年健全育成事業の新たな取り組みの充実、及び実現を図るため青少年育成委員会を単独で設置したこと

② 2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックに向け、青少年を育成する事業はライオンズクラブの責務であること

③ 6年後にオリンピック、パラリンピックに参加できる年代になる少年・少女を後押しするアクティビティに取り組むことが必要である

④ 2020年には、京都、滋賀、奈良に多くの外国人観光客の来訪が予想される。満足した時間を過ごしていただくため、青少年によるボランティア観光通訳ガイドなどを各観光地で結成するアクティビティに取り組むことが必要である

⑤ ③、④の様に人の育成事業を「見えないアクティビティ」と名付けたこと。今後「見えないアクティビティ」への取り組みが必要である

⑥ このアクティビティは、青少年健全育成事業だけではなく、地域社会への貢献にもなること

などお話があり、各クラブにアクティビティの検討と取り組みをお願いされました。続いて、北京オリンピック男子400mリレー銅メダリスト 朝原宣治様に「スポーツを通じた青少年の育成」を演題として講演をしていただきました。

朝原宣治様は、現在スポーツを通じた子供たちの健全な成長と次世代を担うトップアスリートの育成を目的として陸上競技クラブ「NOBY T&F CLUB」を設立運営され、大阪ガス(株)をはじめ、各企業、関係団体、行政と連携し、子供たちを育成する活動、また元日本女子バレー五輪代表監督 柳本晶一氏らと「アスリートネットワーク」を設立されるなどご自身のキャリアを社会に生かそうとチャレンジを続けておられます。

① 科学的なトレーニングが導入されたこと、陸上選手として完成した時期に北京オリンピックに出場できたこと、銅メダル獲得の裏話

② 日本が初めてリレーで銅メダルを取ったことの影響

③ 中学校時代の厳しいハンドボール部が陸上選手として開花した原点であること

④ 高校時代からの陸上選手としてのあゆみ

⑤ 現在行っている子供たちの陸上競技クラブの活動について

一、地域社会で育成する

一、機会を与える

一、陸上だけではなく社会勉強も合わせて教える

一、著名な選手と交流する機会をつくる

などの内容で講演されました。

何かきっかけがあれば大きく成長し能力を開花できること、またスポーツを通して子供たちを育成することは社会貢献になることなど今回のテーマに添った講演内容でした。

閉会挨拶として、地区青少年育成副委員長し三浦 治より出席いただいた御礼と、新たな取り組みへのご理解、ご協力をお願いを述べられ閉会いたしました。

最後に、2020年に向けた青少年育成のアクティビティを、各クラブ様ご理解いただき、是非ご検討のうえ取り組みんでいただきますようしくお願い申し上げます。

地区青少年育成委員長

小西 秀樹



各リジョン別 献血・視力・聴覚福祉委員会各委員長会議開催される

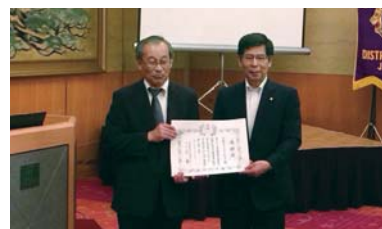
ライオンズクラブ国際協会が推進している人道主義的奉仕活動である、献血・視力・聴覚を担当する地区委員会主催の会合が、今年も各リジョン別に開催された。

まず、8月21日(木)6R、7Rの各クラブを対象にホテルボストンプラザ草津で、地区ガバナー・森井士朗、滋賀県健康医療福祉部業務感染症対策課長 岡本茂胤様のご挨拶で始まり、今期は「アンパンマンのエキス」という輸血現場の状況のDVDを鑑賞(各3地区で上映)メンバーの大多数が感涙した。その後、滋賀県赤十字血液センター所長 小笹宏様からのお話。質疑応答の後、公益財団法人兵庫アイバンク事務局長 コーディネーター 渡邊和誉様より「目の健康」のお話。質疑応答を経て、定刻閉会。

8月22日(金)は、リーガロイヤルホテル京都にて1R、5Rを対象にした上記会合が行われた。地区ガバナー・森井士朗、京都府健康福祉部業務副課長 荒田多津子様のご挨拶の後、DVD上映後、「最近の献血事情について」の題で、京都府赤十字血液センター所長 辻 肇様。続いて渡邊和誉様、「難聴者の現状について」宇治市難聴者協会会長 西村篤子様。それぞれのお話を伺い、質疑応答の後、閉会。

最後は、8月25日(月)奈良ロイヤルホテルに於いて、第2副地区ガバナー・神崎守、奈良県医療政策部業務課課長 谷 直人様のご挨拶の後、血液事業の現状について奈良県赤十字血液センター所長 藤村吉博様「目の健康」については、渡邊和誉様のお話を伺った。

会議の内容としては、門奈委員長の献血・視力・聴覚それぞれの事業を推進していく旨が述べられ、今期、森井士朗地区ガバナーの「アクティビティスローガン」「私心なき奉仕」のもと見返りを求めない労力奉仕が、我々ライオンズのWe Serveである。崇高な理念の元、実施される奉仕活動のひとつひとつが自分自身にとっても満足



できるものであり、地域の人々に喜んでもらえる事業でありたい。又、その事が国際会長ジョセフ・プレストンのテーマ「誇りを高める」ことに繋がるものと確信していると挨拶があり、献血事業については、赤十字血液センターの方から全国的にみて、献血量の減少が顕著である。特に若年層の献血に対する意識が稀薄になってきているので、若年者に献血の重要性、必要性を訴え意識の喚起を促す事が求められる。献血用血液は年々増加する中、今のままだと血液を安定的に確保する事が難しい現状であるという危機感を訴えられた。ライオンズクラブとしては、献血者の確保・献血サポーターの勧誘・若年層に対する啓発、啓蒙。メンバー自身の積極的参加等の対応が求められます。

視力事業につきましては、物が見えるという事の有難さの重要性を考え、アイバンク愛の光基金管理会が実施する角膜移植の為に献眼登録啓発・啓蒙事業の全面的協力を実施。

聴覚事業につきましては、難聴者の現状を把握し、ライオンズクラブとして出来るかぎり理解と支援を考え、社会参加が出来るよう努力する。

そして今期で最後となる、NPO法人デフピープルの「聴覚障害者社会参加支援事業助成金」の活用を各クラブに働きかける等、以上3回にわたって1R、5R迄の委員長会議が開催された由ですが、改めて我々のモットーである「We Serve」が地域にとって重要な位置づけをしているという思いを強め、一層頑張らなくてはと感じた次第です。

第5回 次世代リーダー育成セミナー

「リーダーの資質について」



台風通過、大雨・強風の中にも関わらず、強い志をもった20名のライオンと12名の地区役員が参集し、8月9日(土)リーガロイヤルホテル京都に於いて、次世代リーダー育成プロジェクトアドバイザーの市田昌生の司会進行のもと、午後2時より第5回次世代リーダー育成セミナーが開講されました。指導力育成(GLE)委員長の井尻正義から御礼をこめて、講師である名誉顧問・元地区ガバナー、地区GLEコーディネーターの杉山修、並びに出席者のご紹介に続き、地区ガバナー・森井士朗よりこの育成セミナーの創始メンバーより、3名のゾーン・チエアパソンを今期において輩出できたことは大変嬉しい限りである。」とご挨拶を頂戴しました。今回は、335-A地区元ガバナーで、今期335複合地区GLEコーディネーターの吉田英行(川西中央ライオンズクラブ)が激励に駆けつけて下さり、本日開講の御祝いの辞と去る3月24日開催の複合合同次世代リーダー育成セミナーへご出席いただいた方へのお礼と慰労を述べられ、「本日ご参集の皆様は選ばれたリーダーであるという自覚をもつてほしい」というエールを頂戴しました。また、上級リーダー研修会や併行して「講師育成研究会(2015年5月於マニラ開講予定)への参加も呼びかけられました。続いて、名誉顧問会議長・前地区ガバナーであり、335-C地区次世代リーダー育成プロジェクトコーディネーターの児玉保次より、あらためての杉山修の著書「わがライオンズ」への賛辞(出席者全員に杉山よりご恵贈賜りました)と、「著書の内容を頭に入れ、ライオンズの歴史を知ることにより、大きな決断・小さな決断の時に活かしていこう」と申し添えられました。

講演「リーダーの資質について」では、講師である杉山修より歴史的人物像を例え、4つの条件①高度な知識②豊富な経験③的確な判断力④積極的な行動力 の大切さを説かれ、ご自身の著書から「地獄と極楽」「働き蟻と遊び蟻」「あなたにとってライオンズとは」等々を抜粋されご教示賜りました。そして、市田昌生からは、「家族会プログラムについて」を配布された統計資料、そして国際第2副会長・山田實弘の「世界の潮流に乗り遅れぬために」を参考文献として主旨を賜りました。

質疑応答では、藤村幸二(亀岡保津川LC)、針田一朗(奈良セントラルLC)より家族会員についての活発なご意見を頂戴することができ、始終、前向きな、そして和やかな雰囲気でした。セミナーは終了の段を迎えました。閉講挨拶では、キャビネット幹事の市田俊宏より「本日の講習を本日のことだけで終わらせることなく、皆様夫々がリジョン、ゾーン、各クラブへもちかえり、セミナーを開講して下さり、次世代を担うリーダーをどんどん輩出していきましょう」と力強く述べられました。

最後に、あらためまして、悪天候の中に京都府、滋賀県、奈良県より多数のリーダーの方々にご参集くださいましたこと、心より御礼を申し上げます。有難うございました。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人



第6回 次世代リーダー育成セミナー

「ライオンズクラブ国際協会と日本ライオンズについて」



秋晴れ。朝晩は涼しいですが、爽やかな風の中、強い志をもった次世代を担う21名のライオンと14名の地区役員が参集し、10月25日(土)リーガロイヤルホテル京都に於いて、次世代リーダー育成プロジェクトアドバイザーの市田昌生の司会進行のもと、午後1時より第6回次世代リーダー育成セミナーが開講されました。指導力育成(GLE)委員長の井尻正義から御礼をこめて、講師である335-B地区元地区ガバナー・GMT地区GLEコーディネーターの中村房雄(泉大津LC)、そしてご臨席者の紹介に続き、地区ガバナー・森井士朗より「ご参集頂いた皆様の熱意に感謝する。3年後に100周年を迎えるにあたり、「1億人への奉仕」を目指す中で、会員増強があつてこそと思つている。何とぞ御協力をお願いしたい。次世代はステータスだけではだめ。本日は、そのきっかけを掴んでほしい。」と挨拶を頂戴しました。そして、335-C地区次世代リーダー育成プロジェクトコーディネーターの児玉保次より、「6回目を迎えてようやく充実してきたように思える。2年間のスパンで終盤に差し掛かっているが、335-C地区を牽引していくべく、リーダーとなって邁進して頂きたい。」と激励のお言葉を頂戴しました。

講演「ライオンズクラブ国際協会と日本ライオンズについて」では、講師である中村房雄よりライオン誌11月号には、年4回国際理事の「世界の潮流は家族での交流だ」をご紹介下さり、335-B地区には、山4回次世代リーダー研修セミナーがあり、駅伝のように次世代へタスキを引き継いで永遠のライオンズであるようにと祈りを込めて開催している旨の報告を頂きました。また、2012年2月号でライオン誌に掲載された自らの寄稿文「みんなで築こう和の世界」(Peace in Peace)を引用され「和の精神が日本古来の人道精神の基礎である。そして、この「和」こそが、今のライオンズを支える友愛、相互理解、寛容の精神に繋がっている。」と提唱され、日本ライオンズが当にこの精神でもって一丸となり、新しいリーダーを世界に輩出していく時代だと力強く訴えられました。

質疑応答では、児玉保次より「クオリティは未来の鍵」というジャン・ペール(フランス2000・2001年国際会長)のテーマを引用され、日本ライオンズクラブとしてはステータスなのか家族会を含めた会員増強なのかという喚起をされました。これに対し、中村より「両方大事だ。ただし、ボリューム追求は続かない。世界の潮流は家族と一緒に活動する。ライオンズクラブは夫婦で入るんだ」という次世代が到来してほしい。」と。そして、335-C地区名誉顧問・元地区ガバナー・地区GLEコーディネーター・杉山修より「両方大事」というのは矛盾していない。親会員がしっかりしていれば子会員も自然に増えてくる。」と提言されました。続いて、森井ガバナーより「これからは個々のクラブの方向性を尊重し、ソフト変更していく。会費も含め会員増強手段、アクティビティ等、クラブ単位での考えで運営していけばよいと思う。それには、会員同士の話し合いが大切だ。家族との融和、クラブとの融和、地域との絆。将来的にはライオンズクラブは夫婦で入るんだ、という中村のお話を尊重したい。」と申し添えられました。

セミナーの後半では、市田より「ライオンズ・メンター(模範的指導)プログラムについて」ライオンズ必携を参照しながら説明がなされました。

最後に、あらためまして、ご多用の中、京都府、滋賀県、奈良県より多数のリーダーの方々にご参集くださいましたこと、心より御礼を申し上げます。有難うございました。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人



大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座



9月28日(日)13時30分よりザ・パレスサイドホテルにて、青少年健全育成事業の一環として「大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座(薬物乱用防止に係わる学生啓発リーダー養成講習会)」が、京都府・公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターと共催で開催されました。京都グリーンレオクラブ2名、学生レオクラブ29名、京都府よりの大学生18名、合計49名の受講がありました。

初めに、京都府健康福祉部薬務課長 原田克也様、続いて地区ガバナー 森井士朗より挨拶がありました。

基礎講座(ビデオ講座)では、薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」かと、また身体への影響についてビデオ講座がされました。

専門講座では、薬物乱用の現状及び取締まりについて、また京都府及び教育現場での薬物乱用防止への取組み、学生啓発リーダーの必要性について、並びに学生啓発リーダーとしての取組み方などが関係機関の各講師より講演があり、最後に地区青少年育成委員長の閉講の挨拶で終了いたしました。

式次第

1. 開講式

挨拶	司会 地区青少年育成副委員長 今村 絹世	
挨拶	京都府健康福祉部薬務課長 原田 克也	
	地区ガバナー 森井 士朗	
- I 基礎講座
 2. ビデオ講座「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止教育ビデオ 13:45～14:00
薬物乱用はなぜ「ダメ。ゼッタイ。」か(15分)
 3. 基礎講座「医学知識」「薬物乱用と身体への影響」(30分) 14:00～14:30
医学博士 万本 盛三(DVD)
 - 休憩 14:30～14:40
- II 専門講座(ステップアップ講座)

司会 地区青少年育成副委員長 三浦 治

 4. 専門講座「行政事情1」「薬物乱用の実態・捜査現場の状況など」 14:40～15:10
都府警察本部組織犯罪対策第三課 指導係 係長 辻 健 様
 5. 専門講座「行政事情2」「京都府の取組と学生啓発リーダーについて」 15:10～15:40
京都府健康福祉部薬務課指導・啓発担当 技師 細井 允貴
薬物乱用防止学生自主活動組織 ドラスタ京都
 6. 専門講座「行政事情3」「教育現場より」 15:40～16:10
京都翔英高等学校 副校長 足達 靖彦 様
(ライオンズクラブ国際協会335-C地区名誉顧問・元地区ガバナー 京都やわたLC)
 7. 専門講座「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」 16:10～16:20
公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター専務理事 阿部 俊三
 8. 閉講の辞 地区青少年育成委員長 小西 秀樹

会員増強(GMT)セミナー

16時閉会した。

(GMT)副委員長・大月康永が閉会の挨拶を述べ、

答の後、地区女性会員増強委員長・村上美恵子が講師に対する謝辞を述べられ、最後に地区会員増強

法、施策、そして意義を教示された。この後、質疑応

強ができたか又できるかを熱弁され、会員増強の方

としてその現状、いかにして家族会員の増加、会員増

強ができたか又できるかを熱弁され、会員増強の方

法、施策、そして意義を教示された。この後、質疑応

答の後、地区女性会員増強委員長・村上美恵子が講師

に対する謝辞を述べられ、最後に地区会員増強

(GMT)副委員長・大月康永が閉会の挨拶を述べ、

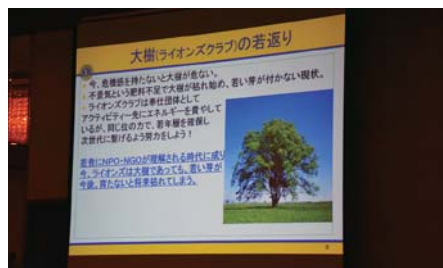
地区会員増強(GMT)委員会



10月8日(水)14時からリーガロイヤルホテル京都において、会員増強(GMT)セミナーが、来賓に335複合地区女性会員増強委員長・前地区ガバナー・児玉保次、335複合地区および335C地区GMTコーディネーター・元地区ガバナー・足達靖彦、そして講師に元国際理事・GMT第5会則(東洋・東南アジア)地域副リーダー・山浦晟暉(東京新宿LC所属)、山浦元国際理事事務局長・今村廉彦(東京品川LC所属)を迎え、地区ガバナー・森井士朗を初め地区役員、各クラブ会長・幹事・担当委員長等計115名の出席を得て開催された。

ライオンズクラブの目的は奉仕活動に他ならないが、その前段の会員の減少に歯止めがきかず、毎年課題となっている会員増強も思うように実を上げていないのが現状であり、昨年度に全国で成果を上げている家族会員制度についてのセミナーを開催する運びとなった。

地区会員増強(GMT)副委員長・阿江暁の司会で進められ、地区会員増強(GMT)委員長・多田隆男より昨年度の会員数の実績、今年度期首から9月末まで3ヶ月の動向について言及され、特に昨年度は全国で約13,000名の会員増となったが、その多くは家族会員であり、この制度について各クラブにおいても検討願いたいとの挨拶があり、続いて森井ガバナー、足達GMTコーディネーターもご挨拶をされた。そして本日のセミナーの主題である「家族会員制度と賛助会員



和船に乗って水郷めぐり



2014年10月17日(金) 89名参加
335C地区環境保全委員会 「和船に乗って水郷めぐり」

地区環境保全委員会の指針は、「自然環境を守るため」の定義に基づき、循環社会の一翼を八幡堀と水郷と題して環境を守る大切さを勉強することを目的として、今回の事業を計画実施させていただきました。多数のご参加誠にありがとうございました。

また、2015年3月には、滋賀県立琵琶湖博物館にて水環境セミナーの開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

335C地区環境保全委員長 西川 勝

最優秀作品 地区ガバナー賞



高塚 清一様

奈良市立椿井小学校6年



高尾 朋加様

福知山市立夜久野小学校(夜久野学園)6年



吉田 千裕様

京都教育大学附属京都小中学校8年

優秀作品 第二副地区ガバナー賞

長浜市立西中学校1年

小山 綾乃様



優秀作品 第一副地区ガバナー賞



田上 翼様

京都市立大宅小学校6年

優秀作品 地区会計賞

京都市立山階南小学校6年

木村 瑠希様



優秀作品 地区幹事賞



齋藤 舞様

城陽市立寺田南小学校6年

優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



川田 千愛 様

京都市立常磐野小学校6年



田中 真央 様

京都市立上鳥羽小学校6年



今竹 まい可 様

京都市立市原野小学校6年



横山 雄大 様

京都女子大学附属小学校6年


金谷 建太郎 様
京都市立衣笠小学校5年


中川 琴子 様

京都市立桂徳小学校6年



三浦 遥花 様

京都市立乾隆小学校5年



松下 真奈 様

京都市立西陣中央小学校6年



若林 奈那子 様

京都市立岩倉南小学校6年



鍋田 知伽 様

城陽市立青谷小学校5年



吉村 光紗 様

京都聖母学院小学校5年



若林 幸音 様

京都市立嵯峨小学校6年



矢内 音々 様

湖南省立岩根小学校6年



澤田 風汰 様

京丹波町立和知小学校6年


坂 美悠 様
久御山町立佐山小学校6年

優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



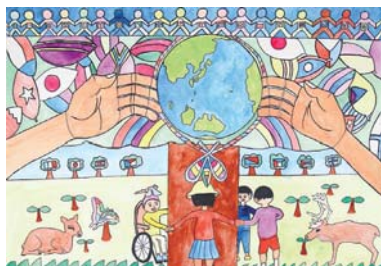
井上 鈴 様

長浜市立西中学校1年

大前 慧記様
東近江市立五個荘小学校6年



川野 里奈様
湖南市立石部小学校5年



稲葉 亘亮 様

生駒市立俵口小学校6年



上西 留菜 様

私立奈良育英小学校6年

北川 雅音様
長浜市立北中学校1年



尾来 萌花 様

五條市立牧野小学校5年

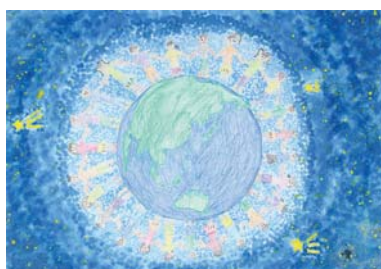
細井 歩実様
田原本町立田原本小学校6年



大城 真叶様
橿原市立真菅北小学校5年



優良作品 地区PR情報・IT委員長賞



浦谷 梨珠 様

野洲市立中主小学校5年

細川 正宗様
守山市立小津小学校5年



山形 咲葵様
草津市立老上中学校1年



努力賞



千代 弥音 様

京都市立嵯峨小学校6年



原田 愛莉 様

京都市立嵯峨小学校6年



川中 喜華 様

京都市立九条塔南小学校6年



谷口 実優 様

京都市立下鳥羽小学校6年



辻 知歩 様

京都市立山階南小学校6年

山田 梨里杏 様

京都市立嵯峨小学校6年



高尾 百加 様

福知山市立夜久野小学校(夜久野学園) 5年



西野 伯 様

彦根市立金城小学校5年

中村 歌月 様

湖南市立三雲小学校6年



三原 啓佑 様

彦根市立金城小学校6年



若林 希咲来 様

彦根市立城南小学校6年



福井 俊輔 様

桜井市立織田小学校6年



清水 大 様

奈良市立青和小学校6年



日比 一葉 様

奈良市立青和小学校6年



全クラブPR情報・IT委員長会議

9月29日(月)、リーガロイヤルホテル京都において、全クラブPR情報・IT委員長会議が、地区ガバナーL森井士朗をはじめとする地区役員、ならびに全クラブ担当委員長のご出席のもと開催されました。

第一部ではKBS京都の竹内弘一氏を講師として、講演がおこなわれました。竹内氏は自ら番組のプロデュース、出演、スポンサーの営業まで担当しておられ、その経験をもとに情報発信のポイントなどをお話いただきました。ライオンズクラブの活動を外部に発信する上で示唆に富んだ有意義な内容であったと思います。

第二部では①ザ・ライオンタイムズについて②国際平和ポスターについて③クラブ活動ブログの投稿とホームページについて、という内容で、3人の

PR情報・IT副委員長よりそれぞれ報告いただきました。担当副委員長の丁寧な説明により、各クラブの担当委員長にしっかりと伝えることができ、今後の各クラブでの情報発信に役立つ内容であったと思います。

地区PR情報・IT委員長 梅山 克啓



みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会



平成26年10月28日(火) 13時20分～16時
京都テルサ テルサホール

受付でスイッチを入れると、銃器追放がLEDで現れる中国製の扇風機を頂きました。

恒例の京都府警察音楽隊・カラーガード隊のデモンストレーションから始まりました。

式典第一部は暴追センター理事長 高崎秀夫氏の開会のことばに始まり、京都府知事 山田啓二(代)・京都府警察本部長 山下史雄氏の挨拶に続き、来賓祝辞 来賓紹介があり、地区ガバナー森井士朗が壇上で紹介されました。

最後に参加者代理による大会宣言「暴力団を恐れない・金を出さない・利用しない・交際しない」が読み上げられ、これは、持つな・持たすな・預かるなの違法銃器の追放を力強く実践し、安全で安心に暮らせる京都の実現に向けて、府民が一体となり邁進する運動です。

第二部は暴力団に父親を殺された方の講演と、千本あんま堂狂言(京都市無形文化財)でんでん虫が上演されました。

地区キャビネット運営委員長 古澤 昭人



アイバンク通信

❖アイバンク設立の経緯

～なぜアイバンクは設立されたのか～

あらゆる移植の中で、世界で初めて行われたのは角膜移植でした。チェコ共和国で1905年のことでした。

角膜移植が増加するにつれ、提供された角膜の保存や斡旋のニーズが高まり、1944年(昭和19年)米国ニューヨーク州のライオンズクラブの援助で、世界で初めてアイバンクが設立されました。

日本では、1957年(昭和32年)岩手医大の今泉教授が、初めて献眼による角膜移植を行い、新聞に大きく報道され社会問題となりました。つまり刑法190条(死体損壊罪)に抵触するのではないかという盛岡事件です。教授への事情聴取などの結果、検察本庁の判断は、「例え法的に問題があるとしても、社会性に富んだ正当な医療行為であり、犯罪の成立は認められない」と言うものでした。

盛岡事件を契機に、翌1958年(昭和33年)超党派の議員立法として国会に上程された角膜移植法が成立。それに基づき1963年(昭和38年)日本で最初のアイバンクが設立されました。(慶大眼球銀行、順天堂アイバンク)

～アイバンクは今～

角膜移植を待ち望まれる待機患者さんが多くおられます。医学・技術の進歩により提供された角膜は大切に活用されていますが、登録・提供者・ご遺族の更なる善意が必要です。アイバンク活動の進展を願わずにはいられません。現在、全国で54アイバンクが活動していますが335-C地区には4つのアイバンクがあります。

○京都府立医大アイバンク

○(公財)体質研究会アイバンク

○(公財)滋賀県健康づくり財団腎・アイバンクセンター

○一般財団法人 奈良県アイバンク

※アイバンクの仕事 ①献眼提供者の募集と登録

②提供された眼球の摘出、検査、保存と斡旋

③献眼と角膜移植に関する知識の普及と啓発など

❖ご支援を頂き有難うございました(2014年6月16日～10月25日)

(クラブ)	京都淀	300,000	(個人)	奥村 啓二	100,000
※敬称略	京都西	200,000	※敬称略	山本 皓一	100,000
	京都南	200,000		松山 迪	50,000
	京都東	100,000		川勝 文男	30,000
	奈良	89,259		阪部 和恵	30,000
	京都京洛	47,107		土江田曜子	30,000
	大和郡山	16,822		木下 昌平	30,000
	京都醍醐	10,000		松岡 勲	30,000
	京都鳥羽	2,666		外村 善一	10,000
	計	¥ 965,854		大島 康男	10,000
				朝倉 利彦	10,000
				奥村 治	10,000
				奥村 訓彦	10,000
				岡田 博	10,000
				大島 康範	5,000
				計	¥465,000

※ライオンズクラブ国際協会335-C地区 (メンバー1人500円×3,756名) ¥ 1,878,000

クラブ便り

京都王仁にて

京都王仁ライオンズクラブ創立10周年記念例会・ソウルニュー冠岳ライオンズクラブ国際姉妹クラブ締結式

2014年5月27日(火)、ライオンズクラブ国際協会335-C地区に所属する京都王仁ライオンズクラブ(金有作会長)のチャーターナイト10周年記念例会と354-D地区に所属するソウルニュー冠岳ライオンズクラブ(朴元政会長)との国際姉妹クラブ締結式がANAクラウンプラザホテル京都において盛大に開催され、約230人が出席した。ソウルニュー冠岳ライオンズクラブからは11名が参加した。

第一部式典のオープニングはソプラノ朴町美さんの韓国歌曲「花雲の中に」(ツクルムソグ)の美しい歌声でじまった。

そして、「愛国歌」並びに「君が代」が斉唱された後、金有作会長が開会の挨拶の中で、京都王仁ライオンズクラブは、ライオンズの基本精神である「国際的な友愛と相互理解」を実践するため、国籍に関係なく、在日韓国人をはじめ日本に定住する外国人、日本人も入会することができ、国際的なクラブの実現を目標として、2003年7月18日に京都淀ライオンズクラブのスポンサーにより誕生したと述べた。

次に来賓の李賢主駐大阪大韓民国総領事や335-C地区見玉保次ガバナ、ソウルニュー冠岳ライオンズクラブ朴元政会長がそれぞれ祝辞を述べた。

続いて、今までの主要な奉仕活動と継続事業をまとめたDVDが上映された後、今年度(2013年7月〜2014年6月)のアクティビティ奉仕先の6団体(アイバンク「愛の光」基金管理会・特別養護老人ホーム「故郷の家」京都・学校法人京都国際学園「主仁」塚の環境を守る会・児童養護施設平安養育院・更生保護法人京都保護育成会)より金有作会長が感謝状を拝受した。

式典のラストを飾って、国際姉妹クラブ締結式が行われた。見玉保次地区ガバナとチャーターナイト時の地区ガバナ大島康男名誉顧問の二人が立会人となり、京都王仁ライオンズクラブ金有作会長とソウルニュー冠岳ライオンズクラブ朴元政会長が、国際姉妹クラブ締結証に署名した。

そして335-C地区ガバナズアワードとして、金有作会長と朴元政会長に特別賞の感謝牌が贈呈された。京都王仁ライオンズクラブは、これを契機に、結成理念を忘れることなく、グローバルな視野に立って、未来志向の日韓友好親善と国際文化交流の為に、架け橋の役割を果たすよう努力することを誓った。



近江八幡にて

姉妹提携45周年 日本と韓国を繋ぐ厚い友情の絆

近江八幡ライオンズクラブは、1969年(昭和44年)韓国の、大邱(テグ)中央ライオンズクラブさんと姉妹提携しました。きっかけは、戦前、小学校で、大変素直で、勉強もよくできた少年が、近江八幡の町に住んでいました。

しかし、彼の家はとても貧しく、そして両親は、韓国の人でした。とても上の学校に行ける状況でなかったのです。しかし彼の親友たちが、それぞれ家であんなとか彼と一緒に上の学校へいきたいと、親たちに一生懸命にお願いをしました。そこで親達は、この少年が、子供達が言うように、正直で礼儀正しい子供であることに気づきました。親達は相談して、彼に学費援助を決め、暖かく励ましてあげたそうです。

やがて、大阪の専門学校も無事卒業して、会社勤めながら、技術を身につけて、両親と共に故郷の大邱に帰りました。それから十五年余りした、1967年(昭和42年)頃、以前の親友であった、江南、洋さんに、韓国大邱から手紙が届きました。親友の李仙石君からでした。内容は、「自分は、現在、ちいさいながらも、町工場を経営しています。ここまで、成功をおさめる事が出来たのも、以前、温かい援助を頂いた、近江八幡の皆様方のおかげと、心から感謝しています。お陰様で、ライオンズクラブという奉仕団体にも入会させていただいております。日本にも、ライオンズクラブがあると聞いております。近江八幡には、ありますか?」との事でした。当時、近江八幡ライオンズクラブも、結成7、8年目で、江南、洋さん、山本昇、山本博一はじめ、当時の親友たちも、沢山チャーターメンバーとして活躍をしており、なんとか彼との友情の継続の為に、韓国大邱中央ライオンズクラブを訪問し、互いのクラブを理解してみようとなりました。

そして、1969年に、互いのクラブ発展とメンバー同士の友情の未永い継続を誓い、姉妹提携を致しました。当時は、日本から韓国への訪問は、容易に行くことが出来ましたが、大邱中央ライオンズクラブのメンバーさんの、日本訪問の出国の許可は大変難しく、我々から、韓国政府宛て招請状を送り許可を得た後、日本行きの飛行機の手ケットも、手紙に同封して、訪問を受け入れておりました。

両クラブの継続が危ぶまれた時期も、一度や二度ではなかったはず。しかし、両クラブの先輩ライオンの友情の絆と信頼は、歳

月を重ねるたび、強くなりました。両クラブとも、当時のメンバーさんは、少なくなりましたが、若い世代のメンバーも、語り継がれて来た話に感銘と崇高なるライオンズ精神を受け継ぎ、今も、厚い友情と交流を続けております。今年は、姉妹提携45周年と大邱中央ライオンズクラブCN47周年を記念して、我々近江八幡ライオンズクラブのメンバー9名がお祝いに参加いたしました。

近江八幡ライオンズクラブ 森嶋 篤雄



京都にて

150年振りに「大船鉾」が都大路を行く 町衆の悲願を 京都ライオンズクラブが支援

元治元年(1864年)の蛤御門の変により構造材の多くを焼失した「大船鉾」が多くの方々・団体の支援を受けて見事に復興し、平成26年(2014年)7月24日、150年振りに祇園祭後祭山鉾巡行の掉尾を飾りました。

大船鉾は凡そ同型の前祭「船鉾」の御神体四体が鎧を着し、戦いに向かう姿であるのに対し、同じ四体が平装で凱旋する姿を現したもので、「凱旋船鉾」とも呼ぶ。その船形の雄姿は古来より名高い鉾である。京都ライオンズクラブでは60周年記念事業として「文化の継承と創造」をテーマに大船鉾の主体となる「屋形・櫓屋形・跳ね出し高欄」を公益財団法人四条町大船鉾保存会に寄贈。大船鉾は一気に山鉾巡行への参加実現となった。

巡行日前の「宵山」での評判・関心も高く、多くの市民が大船鉾町内に押し寄せた。巡行当日は十基の山鉾の最後尾を優雅に華やかに、大綱二本に曳かれ、多くの市民・観光客が見守るなか無事巡行を終えた。復興と言っても白木の鉾であり、今後は「塗り」「金具」など永年を掛けての真の復興が始まる。

前広報委員長 福井 藤次郎

クラブ便り

京都紫明LC

鴨川納涼2014ステージ出演

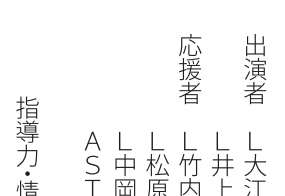
京都紫明ライオンズクラブのマジック同好会は、国際会長賞をはじめ数多くのアワードを受賞している歴史と伝統のある同好会です。

森井士朗ガバナーが今年度の抱負で掲げておられる「私なき奉仕」に沿って、我がマジック同好会は50年近く継続アクティビティとして老人施設や障がい児施設などでマジックショーを披露する活動を行っています。

京都府・市よりの依頼で、27年連続、鴨川納涼に出演し、市民、観光客の方々にライオンズクラブの社会的認知度アップに努めております。

8月2日(土曜日)、時折り小雨の降る蒸し暑い中、長年鍛えて練習に練習を重ねた妙技をトップバッター「井上(健)」、2番手「草木、締め」に「大江」が熱演され、特設会場に集った多くの人々より、驚きと笑いの拍手を頂きました。

マジック同好会によるショーは今後も継続するメインのアクティビティで、来年度も多くの紫明メンバーが応援に来て頂き、50周年を一つの区切りとして捉え、共に汗してアクティビティに励む「ニュー紫明」へ進んで行きたいと思えます。



出演者
「大江」草木、
「井上(健)」

応援者
「竹内」置田、
「松原」福井、
「中岡」中岡、
「AST川端」

指導力・情報委員長
福井 孝治

近江守山LC

CN50「ありがとう例会」

会長スローガン「日々新たにCN50明るく仲良くWe Serve」が一段と映えた最終例会。計画大会「TT、LT担当で鶴飼計画委員長一年の仕上げの例会でもある。

吉川会長の挨拶も心なしか安堵と感激で涙が落ち。特に、本例会が最後のアシスタント業務となる村上さん(30年間在籍)の話に及ぶと少し涙声になった様な気がした。どの期もどの会長・幹事も皆アシスタント村のお世話になってきた。CN20「CN50の記念すべき30年間」ありがとう。そして今後も良きアドバイス。

本日会員表彰の第一番は、1000回例会出席頂いた「岸本」である。なんと43年間MCなしで出席頂いた訳で、チャーターメンバー(全て物故でも何人かしか達成出来ない偉業である。続いて、30年、25年、15年と6名のライオンの表彰。我々クラブ独自のMCなし例会。

皆出席表彰に8名が受表彰。(この彰のお蔭で「岸本」に続くグッドスタンディングが増えることを)例会にバラの花をドネーションし続けて頂いた「山本」と例会毎に素敵なデザイン看板を作り続けて呉れた「小西」に例会運営協力者表彰が授与された。一年間勤務の岩佐「ソニー」チェア「パーソン」に花束贈呈。そして最後に各委員長、TT、LTへ花束と一言。いつもながらほっとする光景である。

森本現幹事の報告のあと、アシスタント村上へのお別れセレモニーがあり、会長より、記念品と花束と饗別のことは。特に次期アシスタント亀甲の涙が、この場の厳粛さを表していた。

小山より30年間のお礼の記念品贈呈。それぞれの想いを秘めて写真に納める。

委員会報告、献血事業部を代表して、上田より次年度もこの体制でゆくと力強い言葉。現時点で110万mlの壁が嘘の様に思える。そうそう別れと言えは「間宮」が体調不良で在籍15年目でピリオドを打つ。全メンバーより惜別の拍手。お別れのあいさつも「間宮」らしい丁寧なもので、ご苦労様でした。又今後共協力お願い致します。

吉川会長の気遣いで紅白まんじゅうを頂く。(丸善、田中弥全で美味、次年度幹事「尾谷」の議案提出もあり、全て一発承認で来期も明るい。役員のラベル譲渡も50年一日の如し風景もあつて、安心の一時であった。

会員の「今井」の経営する魚文の食事を頂き乍ら懇親頂いたメンバーもCN50周年の集大成としての「ありがとう例会」をご満喫下さった事と思う。「L服部」の映像による2013「2014 History」も心に響き2時間半の長丁場、笑顔と涙の最終例会を終える。片岡会員副委員長による出席率発表、終身優待7名正会員33名で80.4%。それにも増して驚くべきは165,000円のドネーションである。これで本年は135万円(その他に各メンバーは年間6万円の拠出金を出している)になり、このクラブの友情、寛容、奉仕の精神をこれほど強く感じた例会はない。遠藤「TT」の力量と魅力ある例会運営のお蔭につきる。それにしても、1224回は足して9「一番強い陽数ではないか。変に納得出来た充実の例会であった。



- 「パフォーマンス賞」(賞の順位は獅子吼主筆の勝手に賞になっています)
- 1位 最終例会恒例 吉川会長 主演歌唱賞「上を向いて歩こう」
 - 2位 「中川」尾谷、吉田、ハープ演奏 例会高揚奏功賞
 - 3位 君が代、ライオンズヒム、また会う日まで、他BGM6曲
想いの歌 1000回例会出席記念
モノーク歌唱賞 「岸本」月の砂漠
 - 4位 最終例会恒例 森本幹事 助演キャスト賞&替え歌賞「月の砂漠」
 - 5位 「L服部」ビジュアル技術賞
 - 6位 「L鶴飼」監督、指揮賞

前財務広報委員長 現テールツイスター

南井 繁樹

草津LC

草津市国際交流協会 国際理解イベント

2014年8月30日(土)草津まちづくりセンターにおいて、KIFA(草津市国際交流協会)主催の国際理解イベント「ペルDAY」が開催されました。

午前10時から、日系ペルー人の方々を講師にペルー料理を作り、参加者で昼食にいただきました。

午後からは、ペルーの文化や気候、言語などの講演に続いて、音楽や踊り「マリネラ」を披露していただき、最後は、参加者も全員でサルサを踊り、盛況のうちに閉会しました。

青少年交流委員長

東 英一郎



クラブ便り

近江守山LC

初盆そして追悼例会

昨年、我クラブのCN50周年を迎えた年に我々は二人の巨星を失う。

2013年12月12日 守山市民吹奏楽団創設に係わった水野正裕先生、2014年2月22日 守吹創設時に教育長であり、守吹生みの親とも言つべき遠藤繁雄先生(元当クラブ会長)が相次いで亡くなられた。

因しくも本年は創団20周年の記念すべき年であり、お二人の「初盆」が重なり、きつと精霊に見守られ素敵な第20回守山市民吹奏楽団定期演奏会が2014年12月14日に挙行されることを確信している。

常任指揮者の青木先生、水野先生を継いだ高瀬氏のご活躍を全クラブ員で応援したい。

本日は、1227回近江守山ライオンズクラブの例会に於いて守山市民吹奏楽団による「フルートとキーボードのミニコンサート」が「武右衛門」(当クラブ「菅江」で開催された。団員の祖父江ご夫妻、副団長寺園さんによるトリオで、ご主人の淳さんがキーボード、奥様真理亜さんとして寺園さんがフルートの構成で、曲目、愛のあいさつ、愛につつまれて、ハナミズキ、ふるさと、川の流れるように、アナと雪の女王(ありのままで)、「アンコール」は「夏は来ぬ」を演奏頂いた。祖父江さんの4歳女兒の音華ちゃんがタンバリンで伴奏を入れ立派なカルテットになった。アナ雪の出演者エルサが寺園さん、アナが奥さん、クリストフが旦那さん、音華ちゃんがオラフの4者と重なり素敵な一時であった。銀のフルートはキラツと高い音、金のフルートはマイルドで温かい音との事。アカペラのように優しく耳に残った。



尾谷幹事の演奏者への気遣い、5名のハッピーバースデー、吉川直前会長へのメンバーシップキー賞が村田会長より渡され華やかな例会になった。そして43代私の会長の時、2006年5月11日に帰らぬ人となった遠藤長一郎さん(1995年守吹創団時の会長の9回目のお盆を迎える。

お精霊さんもクラブと守吹の発展を目を細めて見守っていてくれることだろう。

守吹三代目顧問・T T 南井 繁樹

京都洛西LC

第33回京都洛西ライオンズクラブ旗杯争奪少年ベースボール大会

2014年9月7日(日) 昨日の天候が嘘みたい、素晴らしい秋晴れ。ここ小畑川運動公園野球場。昨年度優勝チーム桂川ベルクラブJを先頭に「イチニ、イチニ」大声で入場行進が始まった。グラウンドを一周しマウンド前に13チームが集合。当クラブ西村会長の「皆さん、元気で力いっぱい怪我の無いようプレーしてください」の挨拶の後、優勝旗返還に続き、大枝バンブーズ主将 西 雄己君の「この場に立たしてくれた、お父さん、お母さんに感謝します。…」と力いっぱい選手宣誓。我々メンバー、役員の方々、選手の父兄約200名の観客は、西君の堂々とした宣誓に感無量の割れんばかりの拍手を送った。

そして、第1回戦は、当クラブ木村幹事のワンバウンドの始球式で試合は始まった。昨日の雨の影響もなく、素晴らしいグラウンドで力いっぱい戦いが繰り広げられた。

33回最初から世話をされている2名の方が、始まった頃と違って子供の人数が減ってチームを維持することが困難なところが増えたとのこと。しかし、第1回の卒業生は現在45歳で大人として世話をしてくれる人は増え役員は増えたとか。

我々は、子供たちが楽しみにしてくれている、この大会を1年でも長く続けることを約束し優勝戦にメダルを首に懸けたときのあの嬉しそうな顔を思いだしグラウンドを去った。

PR広報委員長 中村 誠史



草津LC

青少年問題をみんなでトーク ～講演会～

2014年9月6日土曜日10時より、草津市役所大会議室において、草津市育成市民会議主催の講演会が開催されました。

講師は、兵庫県立大学 環境人間学部准教授の竹内和雄先生です。竹内先生は、20年に渡る公立中学校での生徒指導や教育委員会での指導を経て、現在は、同大学において、教育者を志す学生に対して、子どもたちのネット・スマホ問題などを指導されています。

また、文部科学省や総務省などでも、子どもとネット問題についての委員も歴任されています。

今回の講演で、大人は、まず何が問題なのか？その実情はどうなっているのか？などを知ることから始めなくてはならないということからスタートしました。

大人は、何か問題が起ると、その全てを取り上げたり排除しようとしたりしますが、根本的な原因を探って、その対策を講じることが必要であるということです。

今、問題になっているL・N・Eについても、小学生・中学生・高校生などその世代や地域特性によっても差異があり、一律ではないということ、その現状を知るには机上の論理ではなく、実際に使っている子ども達に聞き、子ども達とともに考える必要があるということでした。

非常に濃い内容で、時間もオーバーするほどの白熱ぶりでした。

今回は、講演会という形式でしたが、今後は討論会やその他の形式も交えて進めていくということでした。

青少年交流委員長 東 英一郎



クラブ便り

草津LC

びわスポキッズプログラム巡回指導

びわこ成蹊スポーツ大学の協力の元、子どもたちに運動、遊びを通じてスポーツに親しむ機会を提供するために開催しているびわスポキッズプログラムも今年で6年目を迎えました。毎年草津市内の幼稚園、保育園の中から2施設に大学からスタッフ（コーチ）を派遣して子どもたちにプログラムを体験していただいています。

今年度の1施設目は9月4日草津市立第6保育所での開催となり4歳児クラスおよび5歳児クラスの子どもたちに体験していただきました。

プログラムはコーチから子どもたちに約束事を伝えることから始まり、退屈しないよう4種類の10分以内の運動（遊び）で構成されています。

4歳児のクラスは園庭での開催、子供たちは所狭しと走り回り、転んで泣く子もいましたが子どもたち同士で助け合いプログラムを楽しみました。続いて5歳児のクラスは雨となり遊戯室での開催となりました。4歳児とは違い、周りを見ながらぶつかることもなく動き統制のとれたプログラムとなりました。

子どもたちの屈託のない笑顔のためにこの活動が今後も継続されることを願います。

青少年交流委員長 東 英一郎



大和郡山LC

第9回 青少年吹奏楽コンサート

7月24日やまと郡山城ホール大ホールにて開催されました。

参加校は大和郡山市内の5つの中学校と郡山高校、法隆寺国際高校の2つの高校と合わせて7つの吹奏楽部が集まりました。

お客様は650名もの方々が平日の昼間開催にも関わらずご来場いただき、開会に先立ち大和郡山ライオンズクラブより八尾会長の挨拶がありました。

この事業は地元吹奏楽部がコンクール前に本番に近い環境で演奏をすることで少しでもコンクールが良い結果につながり、音楽を通じての仲間意識の向上や青少年健全育成の一環をお願い継続させていただいており、主催者様からも継続できることを当クラブに期待されています。

今後この事業が続く事を願っています。

青少年育成委員長 藤井 卓



大和郡山LC

全国金魚すくい選手権大会で献血キャンペーン

8月24日（日）全国金魚すくい選手権大会2日目、八尾会長を筆頭にメンバー参加21名、福島県の友好クラブ郡山ライオンズクラブから9名の皆様をお迎えし、全国から会場にお越しの方々に献血へのご協力をお願いかけました。

暑い中ありがとうございました。

今後献血にご協力を！

保健福祉委員長

田口 恵美子



亀岡LC

9月第二例会（奉仕例会）

9月第二例会にあたる16日（火）にアクティビティの一つとして、保津川右岸の約300メートルに及ぶ桜並木の除草作業を行いました。

当日は真夏の様な暑い中クラブのメンバー大勢で草刈り機や鎌、熊手等を手にして行いました。

三年前に植樹をした桜もだいぶ大きく成り近い将来満開の桜の元で市民の皆様にお花見を楽しんで頂ける事と思っております。

ICT・PR委員会

小笹 恭裕



クラブ便り

大和郡山LC

『芋作り体験学習』 さつまいもの苗植え

大和郡山市立筒井幼稚園

5月15日、前日の大雨が朝からあがり最高のコンディションで開催出来た。19名のメンバーに参加をいただき、92名の幼稚園児と一緒にさつまいもの苗を植えました。

冒頭、八尾会長の挨拶、L中谷より苗の植え方の説明がありました。

畑に置かれた苗に土をかぶせ水をまき、作業は終了。秋には収穫冬には焼き芋パーティーが開催されます。

自分たちで苗を植え、水をやり、収穫してさつまいもを食べるという経験を、幼稚園での教育の中で体験できることは素晴らしい事業であると感じました。

何十年も続いているこの事業は大和郡山ライオンズクラブの伝統行事としてこれからも継続できればと思います。

吉田園長はじめ関わっていただきました先生方、畑の準備をしていただきましたL中谷、当日参加いただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。



青少年育成委員長 藤井 卓

愛知LC

第25回 青少年健全育成教育講演会

愛知ライオンズクラブ(会長し伊谷正昭)は、今年で25回目となる青少年健全育成教育講演会を、

東近江市より愛知中学校、湖東中学校、愛知郡より秦荘中学校、愛知中学校、計4校350名の1年生の生徒を招き、夏休みの8月8日に開催致しました。

講演会は、中学1年になったばかりの生徒に、シンナー、大麻、覚せい剤、MDMAなどの薬物、特に比較的購入が簡単な危険ドラッグによる事件や事故が、数多く新聞やテレビ等で報道されている事、薬物の恐ろしさを改めて知っていただき、薬物には絶対に手を出さない、好奇心や誘惑に迷うことなく、ハッキリと「ノー」と言える人になっていただく為、毎年8月に中学1年生を対象に行っている事業です。



講演は1部、2部の構成で、1部では東近江警察署の警部を招いて、薬物の恐ろしさや薬物による副作用、幻覚の話、2部では東近江市の安楽寺の住職を招いて、いじめ問題がまだまだ絶えない中、命の大切さ、人をおもいやる優しい気持ち、友達の大切さなどを具体的に判りやすく話していただきました。

後日、全生徒から講演会の感想文を書いて提出していただき、各中学校別に優秀作品、佳作にクラブより表彰し記念品を贈呈しております。

市民教育委員長 坂田 守

八日市LC

第30回八日市ライオンズクラブ旗争奪シニアソフトボール大会

八日市ライオンズクラブ(村田富二雄会長)が主催する

東近江シニアソフトボール大会が、9月21日(日)に東近江市立布引運動公園グラウンドを会場に開催された。本年は第30回目に当たり、例年のクラブ旗争奪のシニアソフトボール大会だけでなく、記念大会として盛り上げようと新たな催しが企画された。

ソフトボールの大会は、市内の11チームが参加してリーグ戦で優勝を争った。決勝戦を含め4試合を戦いNOTOGAWA.S.Cチームが見事栄冠を勝ち取った。シニアとは思えないハッスルプレーの続出で、グラウンド上は熱気に包まれていた。



記念大会の企画として、日本女子プロ野球機構の選手6名によるティボール及びバッティング教室(ティの上にやわらかいボールを置いて打つ)、株式会社SSKの講師によるノルディックウオーキング教室(スキーストックに似たポールを持つてウオーキング)、市内の4中学校の女子ソフトボール部による親善交流試合が行われた。

女子中学生のバッティング指導、シニア選手との交流に汗を流した女子プロ野球選手のPR。ノルディックウオーキングは、全身の筋肉の90%を使うことから、市民の健康増進、運動不足解消への寄与。さらに、少子化で対外試合が減少している中学校のソフトボール部への機会提供等々スポーツを通じての交流、社会貢献できたことは意義深いことであった。不謹慎のそしりは免れないが、例年ならおじさんの声しか聞かないグラウンドに黄色い歓声が飛び交い、華やかな雰囲気になったことも何よりであった。

八日市ライオンズクラブ 瀬戸 俊男

クラブ便り

京都日吉ヶ丘LC

第550回 9月第一例会 「ガバナー公式訪問例会」

2014年9月8日(月) 12時15分〜13時30分
於…ウエスティン都ホテル京都 西館4階「瑞穂の間」
天候…晴れ

335-C地区ガバナー・森井士朗と4クラブ代表者の懇談会終了後、定刻通り12時15分より京都東LC幹事・竹内幸平と京都みやこLC幹事・尾宮俊宏の司会で例会に入りました。京都東LC会長・桂田克典の開会・ゴングで例会開会。国歌「君が代」斉唱、「ライオンズクラブの歌」を一番のみ合唱に続き、京都東LC会長・桂田克典より地区ガバナーは元より来賓の紹介がなされました。

歓迎の挨拶は京都みやこLC会長・勝村吉弘が、2R2Zゾーン・チエアパーソン・増井達也が現在のクラブ会員数など詳しく現況報告され、地区ガバナー・森井士朗のご紹介を簡単に述べられ、詳しくは例会誌記載に委ねられました。

各クラブ会長と地区ガバナー・森井士朗による記念品の拝受とバナーの交換も恭しくなされました。

楽しい会食の前に、335-C地区第一副地区ガバナー・永田賢司の乾杯で会食に突入、各テーブルそれぞれの話題で歓談に花が咲いていました。

TT登場ではお絵かき大会と称し、出題された動物の絵をいかにうまく描けるかを競い、ゾーン・チエアパーソン・増井達也の象の絵がガバナー・森井士朗の審査で好評を得て一等賞を獲得されました。

「大笑いする程へたな絵もアリ！ガバナーもびっくり！」この会長とは申しません。

時も経ち、京都つづら野LC会長・吉田芳道のお礼の挨拶につき、締めは地区ライオンズ・クエスト委員長・河原善雄が元気にライオンズ・ローアを発声されました。

最後に広い輪になり「また会う日まで」を合唱し、京都日吉ヶ丘LC会長・高嶋利一郎の開会・ゴングで滞りなく例会は終わりました。

広報情報委員長 光岡 恒彦



京都桃山LC

ポスターコンテスト選考例会

当クラブでは毎年四校に賛同いただいています。今年は約200枚の応募となり前期より多少少ない応募となりましたが、賛同いただいた小学校の担当先生や教頭先生には大変素晴らしいと毎年楽しみにしていただいています。

その中から優秀作品を展示し、メンバーにて公平に無記名投票し代表作品を選出しました。



様々な国の人種が手を繋いでいる作品や地球と鳩が大きく書かれた作品など、平和を象徴する鳩や地球、国旗等が描かれた作品や子供らしく描かれている作品の中で、一番に票を集めたのは、地球から鳩が機関銃や戦車や戦闘機などあらゆる武器を運び出し、地球がお花畑になるといつ、まさに今期のテーマである「平和・愛・理解」が忠実に描かれていて、考えさせられるような作品でした。

PR・情報・IT委員長 栗林 勉

愛知LC

青少年健全育成教育講演会生徒の感想文(優秀賞)

「薬物乱用の恐ろしさを知って」

僕の夏休みはほぼ毎日部活で、暑い中、苦痛や疲労も多いが充実した日々を送っている。そんな中、青少年健全育成教育講演会に参加した。講演前は、学校行事だから行くという感じで薬物にもそんなに関心を持っていなかった。

「僕には関係ない」とおもっていた僕の心を変えたのが、この講演会だ。

僕の中で最も印象的だったのは、ビデオで動物に薬物を入れて実験をするところだ。自分より小さいものに噛みつき、同じ大きさのものでも激しくケンカをする姿をみて恐怖を感じた。それにたくさんのお魚があるのに何度も同じ道を行ったり来たりしているのを見た時は脳が壊れるってこういうことなのかと思った。交番の所長・後藤さんの話の中で、暴力団と、大量の薬物を乱用した女子高校生の実話があった。脳が混乱した状態でホテルの三階から飛び降りたようだが「命は助かった」と聞いて安心した。薬物乱用で起こる主な症状は、幻覚・幻聴・興奮・興奮・失明・脳が壊れる・判断能力の低下などがある。その女子高生は興奮し判断能力を失っていたのだらう。もしかすると、話の中で聞いたように高い所に行くと自分が鳥になったように感じたのかも知れない。

僕は薬物に無関心だった自分を恥じた。こんなに人の人生を狂わせ、体や脳神経をむしばむ薬物には絶対に手を出さないと未来に誓った。誰もがそう思うだろうが、それでも薬物に手を染めてしまうのは、周囲の環境や精神的な面などで苦しんだからだろうと思う。一刻も早く一人でも薬物の闇から救うべきだ。そして傷ついた心をいやし、正しい道へ導きだすことが薬物を学んだ僕たちの使命だと思う。こうして講演会に参加したことで僕の心は変わった。本当に感謝の気持ちでいっぱいだ。



クラブ便り

彦根ＬＣ ぼぼハウス栗拾い支援事業

認定特定非営利活動法人ＮＰＯぼぼハウスは、平成11年に立ち上げ平成13年に法人として認証を受けられ、さらに平成15年には支援費制度における指定居宅支援事業所として認可されました。

設立以来一貫して、高齢者、障がい者保護者と子どもを、地域の中で支援する活動を続けています。

今回、彦根ライオンズクラブではこの施設を利用する子どもたち、5歳から17歳の14人を招き、当クラブが植樹する多賀町高取山ふれあい公園で、栗拾いを楽しんでもらった。

9月23日（火）秋分の日、秋晴れの好天に恵まれ、子どもたちや施設の職員、メンバーは、額にうっすら汗を掻きながら、子どもたちと一緒に栗拾いを行った。その後、全員で「栗ご飯」のお弁当を戴き解散となった。

メンバーは各々自分の栗の木を所有しているが、なかなか栗拾いまでは出来ていなかった。が、今回の事業で、収穫の楽しさを知った様子がしました。



社会福祉委員長
脇坂 正人

彦根ＬＣ

盲導犬啓蒙募金活動実施

10月13日の体育の日、台風19号の迫る中、今年度で13年目となる盲導犬啓蒙募金活動を展開いたしました。

3連休の最終日となる日でしたが、台風の影響なのか会場には大勢のお客様が来店され、募金をして戴きました。

又、チャリティグッズも思いのほか多く購入して戴き、盲導犬に多くの方が関心を示して頂いてることを再認識出来ました。盲導犬が何者かによって傷つけられたニュースの事を話されていたご婦人もおられ、「頑張ってください」と声を掛けられました。有意義な活動を続けているんだと今更ながら思った次第です。

PR犬の「ブルム」にも大活躍で、子どもたちの注目の的となっていました。

社会福祉委員長 脇坂 正人



大和高田ＬＣ

要約筆記者研修会 「デフピープルの支援を受けて」

今期で最後となった特定非営利法人「デフピープル」の「聴覚障害者社会参加事業助成金」を受け、要約筆記者として奈良で広く活動しているボランティアグループ「OHPPたかだへ、OHCC（オーバーヘッドカメラ）プロジェクト・スクリーンなどを寄贈し、さらに全6回の要約筆記者スキルアップ講習会も開催させて頂くことになりました。

その第1回目の講習会を、2014年10月5日（日）、大和高田市総合福祉会館に於いて、八島隆副理事長、佐藤義彦理事をお迎えし行いました。

開会式を新しい機器で要約筆記して頂きましたが、初めて見る要約筆記の様子は、3名のボランティアの方々交代で私たちが話している言葉をひたすら書き続けておられる姿は過酷な労働であり、皆さんの手首もけんしう炎で悲鳴を上げておられる状態で、普段の活動に頭が下がる思いでした。

これから可能な支援があれば行っていきたいという松田会長の思いも要約筆記の文字となり、参加者の皆さんの笑顔に繋がっていました。

幹事 吉川 修市



近江守山ＬＣ

「寿例会」

2014年10月9日（木）

〈於〉魚文 担当 T.T.、L.T.計画大会

Ｌ田中佳奈のご主人（リンクスデザイン 平野様）に、例会看板や寿名札を作っていただいた。表彰のメンバーには年輪を模したたねやのバウムクーヘンを決定。それに素敵なバラを添えて舞台は魚文（メンバー）今井。皆さんに喜んでいただけたらう。

寿（ことば）は「言祝う」とも書く。メンバーの笑顔と真心の言葉に包まれて下されば幸いである。裏技ではないが、今日のT.T.タイムは「インタビュ」年輪と合わせメンバーの哲学をお聴かせいただけたらと思う。

計画大会委員長・大林の指揮でP.M.6時過ぎには立派な会場が出来上がった。P.M.6時30分役者が揃い、座長たる会長・L村田の開会・コングで緊張が走る。セレモニーが30分、予定より10分長くかかる。これが第1部。第2部「賀寿の祝宴」が引き続き開催される。長寿・賀の祝いは還暦（61歳）にL上田・L渋谷の2名、喜寿（77歳）にL加藤、L森田、L青木の3名そして傘寿（80歳）にL小林の計6名に記念品を贈呈。結婚記念祝いに、真珠婚式（30年）にL酒井登、金婚式（50年）にはL青木が喜寿と合わせダブルで表彰された。

女性85・61歳、男性80・21歳の世界一の平均寿命（ただ健康寿命の女性73歳、男性71歳が気になるが）に他のメンバー方にも元氣！に挑戦下さればと思う。

宴会に入る前に「清興」として、竹中佳子師匠（日舞）の慶賀の舞（常盤めてた、そしてもう一舞 祝舟を祝奉る）。祝辞は第2副会長・L藤本のユーモア一杯のスピーチ。爆笑の渦。乾杯は前会長・L吉川「楠千年 今年も変わらぬ若葉かな」と年輪の重みを感じ言葉披露。披露は「米国の詩人 サムエル・ウルマンは「青春とは年齢を言うのではない、心の在り方を言う」と語っている。古代中国の五行説では「青が春の色であることから、若々しい事、時を青春と言うそうである。還暦の赤のチャンチャン、紫のチャンチャン、喜寿、傘寿の方々へスピーチ頂く。L小林は誕生祝いと傘寿のダブル表彰で、L青木と合わせ誠に目出度き事が二つ重なった。時間切れで10月誕生、今年57歳のL森本や出席ライオン最長老のL岸本にもインタビュしたかったなあ！

出席率94.7%（2名欠席がおしい！）ドネーション76,000円。料理よし、酒よし、懇談は進み、あつと言つ間の2時間が過ぎる。ゆったりとした食事が会話を生み、会話が友情を深める。「また会う日まで」自画自賛かも知れないが、本当に良い例会であった。

T.T. 南井 繁樹



クラブ便り

2R合同

アイバンクキャンペーン パレード

2014年10月4日(土)、地区ガバナー・森井士朗をはじめ、地区役員の方々、アイバンク愛の光基金管理会より、理事長奥村啓二様、啓発委員長川勝文男様にご参集頂き、2リジョン内17クラブによる「アイバンクキャンペーン パレード」を開催致しました。

京都グリーンレオクラブのレオを先頭に、御池大橋を出発。京都明徳高等学校吹奏楽部60名の迫力ある演奏をバックに河原町通を南下、四条河原町を西進し、池坊学園前まで献眼登録推進の横断幕を掲げ行進致しました。

また、少しでも多くの市民に角膜移植について知って頂くため、コース内の数力所においては献眼登録用紙を配布致しました。当日は、台風18号による悪天候も予想されましたが、天候の急変や大きな事故もなく、無事パレードを終えることができ、また、視力保護活動について一般市民になお一層の理解を得ることが出来ました。

パレード開催にあたり、多方面よりご尽力及びご協力頂きました皆様、当日長時間に亘るパレードにご参加頂きました皆様、本誌面を拝借して御礼申し上げます。

2R4Z
ゾーン・チエア

安田 一夫



京都洛中LC

ゼスト御池にて「第32回アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン」開催

当クラブが長年にわたり取り組んでおりますアイヘルス・糖尿病予防キャンペーンも今年32回を数え、10月3・4日にゼスト御池に於いて盛大に開催されました。午前10時、京都市保健福祉局医務課様をはじめ京都府糖尿病協会、京都府眼科医会、(公財)京都新聞社会福祉事業団、ライオンズクラブより地区ガバナー、地区役員多数のご出席を頂き開会式が行われ、それぞれにご挨拶を頂いたあと、テブカットが行われて会場がオープンされました。



会場内には専門医による健康相談をはじめ看護師さんによる血糖検査や血圧検査、壁面には糖尿病の症状と原因、治療と予防のパネルが掛けられました。会場外では各メンバーが手分けして「アイヘルス・糖尿病予防キャンペーン」の記念品を通行中の人に配布PRして夕方5時までの間に約100人余りの人たちが来場されて大変な盛況でありました。このキャンペーンによってアイヘルス・糖尿病予防をPRすることが出来、糖尿病の患者さんが減っていくことをメンバー一同心から願っております。

京都西LC

将来の新しい日本のリーダー

京都西ライオンズクラブの主要アクティビティであり、青少年指導育成事業として取り組んでおります、京都ウエストライオンズカップ少年ラグビー大会が、今回記念すべき10回を迎えることになりました。

当初より京都府、京都市を初め各方面関係諸団体のご理解とご協力の賜物と感謝致します。

少年たちが、ラグビーを通して体感する、その喜怒哀楽と友情、家族やその地域の方々ととの絆に結ばれて、たくましく育っていくことを期待し、また、共に汗し、"All for one"、"One for all"のチームワークのもと、精一杯戦い、ノーサイドのホイッスルとともに相手チームとの垣根を取り去り、お互いに健闘を讃え合うこのラグビースピリットはライオンズスピリットに相通じるものがあります。

5年後の2019年東京オリンピックの開催の前年に日本でラグビーワールドカップ開催が決定しており、京都市は西京極陸上競技場への公式戦招致を目指す市議有志の議員連盟を立ち上げ、クラブメンバーのL中村三之助が代表として取り組まれています。



少年ラグビーも将来新しい日本のリーダーになってくれると確信致します。

それぞれの環境や立場を超えて協力し合い、みんなで手作りの大会に行きたいと思っております。

京都城南LC

第18回 さつまいも掘り大会

10月5日(日)、台風18号の影響で前夜から心配された雨も、午前中は何とか持ちこたえ、「京都城南ライオンズクラブ・第18回芋掘り大会」を城陽あらす芋掘り園(伴農園)で開催致しました。市内の6ヶ所の福祉施設から園生、保護者、先生方 合計126名が参加。

ライオンズクラブからは地区ガバナー・森井士朗はじめ、キャビネット幹事・水田ゾーン・チエア・パインソン・植田、地区役員、4R3Z内5クラブの会長・幹事さん並びに京都城南LCのメンバー、L・LJ総勢185名で賑々しくいも掘りを楽しみました。

LLの皆さんの協力で掘りたてのさつまいものから揚げを食し、秋の味覚を楽しみ、障害者と健常者も童心にかえって一緒に自然の土に触れながら和気あいあいと収穫の喜びを共に味わいました。

福祉施設の参加者は、明るい笑顔で自分の手で掘り当てた大きなさつまいもに感動の声を上げていました。大きさ、長さ、子だくさんの3部門でコンテストも行い、大いに盛り上がりを見せていました。

各施設の園生が「さつまいも掘り」を土まみれになりながら楽しんで喜んでる姿を見てメンバー一同も感激し、「We serve」の意義を改めて強く心に刻みました。これから当クラブの継続メイン事業の一つとして会長スローガン「楽しもう」を合言葉にメンバー一同心を合わせて継続して参る所存です。



幹事 八田 英司
福祉委員長 落合 稔
PR委員長 島内 正広



クラブ便り

八日市LC

「寸劇型防犯教室」で 特殊詐欺を研修

近年の振り込め詐欺は手口がますます巧妙化して、その被害額も増加している。そのような詐欺の被害に遭わないために、10月21日に開催された月見同伴例会において、地元東近江署管内の交番に勤務されている5名の巡査による防犯教室が行われた。

防犯教室は、本年8月に管内で発生した金融商品等の特殊詐欺が題材で、言葉巧みに一人暮らしの老人に投資の儲け話を持ち掛けるというストーリーで、時折笑いも交えながら最新の詐欺の手口の一端を分かりやすく上演された。簡単に騙されるはずがないと思われるのに被害が後を絶たないのは、騙す側のテクニックがそれだけ高いレベルであり、相手の心理状態を上手く利用して巧みに信用させるということが思い知らされた。皆様くれぐれもご注意を！

その防犯教室の後には、署員の皆様にも



会食・余興・ゲームに参加頂き、地元に着した交番署員のご苦労など、思いを馳せる好機会ともなった月見同伴例会であった。

PR委員長

瀬戸 俊男



京都モーニングLC

ライオンズ糖尿病教育 クッキングセミナー開催される

京都市内の6ライオンズクラブが今春より合同で取り組んでおります「STRIIDE S」の一環として春に開催した講演会に続き、クッキングセミナーを開催しました。

国民の4人に1人が糖尿病またはその予備軍と言われております。糖尿病に対する認識、教育及び防止を促進するために、食事に関する知識が必要であると考えます。しかし、毎日の食事が手間がかかりすぎたり、味気のないものであれば長続きはしません。そこで今回は料理のプロを養成する「ラ・キャリエールクッキングスクール」の最新の調理施設で管理栄養士のお話を聞き、「提案頂く「手早く、美味しくヘルシーなメニューを4人1組のグループに分かれて調理実習・試食し、楽しく学びました。当日は予定をしていた人数以上の参加希望がありました。会場には森井地区ガバナーや佐竹地区会計、町田ZCPも参加頂き、皆様エプロン姿で熱心に調理に取り組んでいただきました。



和やかな内に調理実習、試食会を終了しました。参加者の皆様から大変有意義な楽しい会であったとの声を聞き今後とも引き続きこのような会を継続していければと考えております。



京都パレスLC

秋空のもと 子供達と「芋ほりとバーベキュー」の一日

我がクラブ継続アクティビティの一つでもあります。大原育苗園での「芋ほり」及び「バーベキュー」の事業を本年も去る10月26日(日)に行いました。

当日は晴天にも恵まれ児童養護施設「つばさ園」より26名「西部地区障害者の進路保証をめぐす会」から24名、また、我がクラブメンバー及び家族子供達と総勢80余名の参加がありました。

今年度は、335C地区第2副地区ガバナー・神崎 守(京都やわたLC)、3R2Zゾーン・チエア・パソン・松原公太郎(京都紫明LC)も、お忙しい中、激励にお越し下さいました。

日頃「土」に接する機会が少ない都会の子供達が、毎年収穫の秋を楽しみにしており、心の癒しになっていると、施設の方が言っておられました。

「芋」を袋に一杯に詰め込んで、得意満面な笑顔やバーベキューにおいては、「おなかいっぱいになるまでお血を持つて順番を待ち何度も並んでくれている姿、また、食事の中休みにもゲームで楽しんでいる姿、また、食事中、京都パレスライオンズクラブ継続事業15回



目の「奉仕活動」の喜びをメンバー全員が感じるとても有意義な一日を過ごすことが出来ました。

PR情報・IT委員長

宮崎 勇郎



瀬田LC

ボーイスカウト大津第21団との 合同清掃奉仕

瀬田ライオンズクラブの継続事業であるボーイスカウトとの合同清掃奉仕を10月19日(日)瀬田川東岸地域で行いました。

地域委員会の掌握で恒例となりましたボーイスカウト大津第21団との合同奉仕も今年で第21回目となります。当日は秋晴れのもと、隊員及び保護者約50名の参加を頂き、当クラブ会員12名・樹支部3名と共に約1時間30分、清掃活動を行いました。

活動開始前には、青少年育成援助金を贈呈し、終了後は一樹支部会員の協力を得て、「きのこ汁」が炊き出され、全員がおいしくいただきました。

「きのこ」は信州菅平からの物で、日頃関西では見慣れない「きのこ」があり隊員の小学生が、おかわりをするほど好評でありました。

毎年恒例行事であり、少しでも地域にとけこんだ奉仕ができ、隊員(小学生)とのふれあひもでき、満足のうちに無事閉会となりました。



来年もぜひ合同での清掃奉仕をお願いしますと団長より挨拶頂き、今後も継続事業として、回を重ねていきたいと思っております。

地域委員長

中谷 種治





新会員の紹介

おめでとうございます



L南 博光

S.47年12月13日生

京都西LC

南会計事務所
所長
税理士



L岡本 久弥

S.55年9月1日生

京都洛南LC

株式会社 岡本建創
代表取締役
屋根・外壁業



L清水 正美

S.39年1月31日生

京都洛南LC

有限会社 ガレージシズ
代表取締役社長
自動車修理・整備業



L山崎 弘樹

S.40年11月2日生

京都南LC

ウエスティン都ホテル京都
料飲部長
ホテル業



L勝井 茂幸

S.47年11月12日生

京都南LC

マイベリー ファーム
代表
農業



L渡邊 博明

S.44年12月31日生

京都洛翠LC

(有)ベイズリーパーク
代表取締役
呉服小売業



L山本 紘士

S.51年11月18日生

京都洛翠LC

(有)テスココーポレーション
専務取締役
サービス業(建物総合管理)



L中出 光博

S.44年5月10日生

京都洛翠LC

株式会社 サカキヤ
代表取締役
建設業



L平井 斉己

S.40年9月29日生

京都ミレニアムLC

平井としき事務所
京都府議会議員
地方自治体議員



L近藤 純弘

S.29年9月21日生

京都朱雀LC

近藤製作所
代表
配電盤用開閉器・電気器具作成



L石田 匡

S.46年10月8日生

京都ときわLC

京都プライトンホテル
営業課長
サービス業



L堀江 春美

S.19年3月1日生

京都ときわLC

公益社団法人 日本南画院
副理事長
水墨画家



L中村 久義

S.27年11月30日生

京都洛陽LC

株式会社 京都銀行
代表取締役専務
金融業



L岩永 愛

S.54年1月22日生

京都錦LC

岩永愛税理士事務所
所長
税理士



L林 ひさ子

S.23年10月16日生

京都錦LC

京都学園中学高等学校
非常勤講師



L杉本 和子

S.30年9月23日生

京都岡崎白川LC

株式会社 富士
取締役
不動産賃貸業



L藤井 宏嘉

S.12年2月8日生

京都華頂LC

(株)リキデン
取締役会長
電設資材・卸売業



L瀬尾 武雄

S.18年1月23日生

京都華頂LC

(株)セオデンキ
社長
家電販売



L野秋 豊

S.32年12月11日生

京都みやこLC

ホテルモントレ京都
副総支配人
サービス業



L上田 寿彦

S.26年9月23日生

京都みやこLC

株式会社 白心堂
専務取締役
菓子製造販売業



L杉山 昭美

S.29年5月15日生

京都ロイヤルLC

朝日生命保険相互会社
京滋支社下京営業所
生命保険業



L高松 利行

S.41年7月21日生

京都葵LC

愛宕神社
宮司
神職



L山崎 敏彦

S.27年1月29日生

京都洛北LC

株式会社 山崎
代表取締役
左官業



L作屋 武史

S.25年8月1日生

京都洛北LC

株式会社 京英商会
代表取締役
塗料及び副資材卸し販売



L大和 俊二

S.32年3月7日生

京都堀川LC

リーガロイヤルホテル京都
副総支配人
ホテル業



L永澤 義典
S.21年4月4日生
京都嵐山LC
総合建築 造屋
代表取締役
建設業



L高木 保光
S.52年11月20日生
京都嵐山LC
(株)タカギコンストラクションオフィス
代表取締役
建設業



L嶋田 久司
S.30年8月9日生
京都乙訓LC
株式会社 花久
代表取締役
事務機・事務用品・スチール家具販売



L島津 麗叔
S.56年6月20日生
京都パレスLC
株式会社 島津水研
取締役
メンテナンス業



L芦田 陽子
S.56年4月4日生
京都ロイヤルLC
遠州華道会本部
華道家



L澤井 美智子
S.22年1月8日生
京都むらさきLC
京都府ナースセンター
看護師



L山段 晴揮
S.40年9月18日生
京都桃山LC
株式会社 ティー・アイ・シー
代表取締役 会長
生・損保代理店



L山際 正明
S.25年11月25日生
京都嵐山LC
(有)KFE
代表取締役
輸入業・スポーツ用品販売業



L村上 哲哉
S.51年9月14日生
京都嵐山LC
Cafe&Bar Refrain
店長・マネージャー
サービス飲食業



L花山 弘明
S.42年3月18日生
京都嵐山LC
(株)グラフィック
アカウントディレクター
広告関係・ウェブ・映像業



L谷 肇
S.40年11月9日生
綴喜LC
(株)南都銀行 京都辺支店
支店長
金融業



L中原 睦實
S.22年11月5日生
綴喜LC
中原建材株式会社
会長
建材業



L久村 浩
S.43年2月21日生
綴喜LC
山城繊維工業株式会社
代表取締役
プラスチック加工 製造業



L永瀬 公恵
S.31年1月27日生
京都むらさきLC
佛教大学
学生支援部参与
大学職員



L前田 恵美子
S.22年9月10日生
京都むらさきLC
嵯峨野病院
看護部長
看護師



L野中 一秀
S.42年1月31日生
園部LC
(株)西日本ツーリスト
代表取締役
旅行業



L後野 政雄
S.51年2月15日生
京都市城南LC
ウシロノ建築
代表者
建築業



L國吉 幸樹
S.34年6月6日生
京都鳥羽LC
バディー92
経営者
サービス業



L南山 誠司
S.37年5月20日生
京都鳥羽LC
(有)ダイナ
取締役
広告代理業



L福田 トシ子
S.21年11月6日生
宇治川LC
国立放送大学 学生



L紀戸 健治
S.37年12月21日生
高島LC
株式会社 滋賀銀行
支店長(今津支店)
金融業



L松岡 洋司
S.36年9月4日生
大津LC
(株)ドリープ
代表取締役
介護保険・デイサービス・リハビリ



L竹山 三枝子
S.36年7月29日生
網野LC
「くれね」
飲食業



L堀 一郎
S.33年7月4日生
網野LC
味匠 ひなや
店主
旅館業



L梶川 一高
S.37年10月1日生
宮津LC
宮津ロイヤルホテル
副支配人
ホテル業



L岸本 成郷
S.49年11月16日生

草津LC

(株)料和
代表取締役
飲食業



L木下 茂
S.22年1月8日生

瀬田LC

(株)木下カンセー
会長
廃棄物処理及び管理業



L小畑 雅裕
S.35年8月30日生

志賀堅田LC

税理士法人 小畑会計事務所
大津支店
税理士



L森田 ルリ子
S.47年6月30日生

高島LC

モリタ工業
代表
道路カッター



L三矢 美保
S.43年12月9日生

高島LC

カフェ アリビオ
店主
サービス業 カフェ経営・エステティシャン



L武藤 貴也
S.54年5月25日生

近江八幡LC

衆議院議員
政治家



L西村 浩一
S.45年11月4日生

近江八幡LC

(株)ニシケン
代表取締役
建設業



L岡 正基
S.35年4月1日生

八日市LC

湖東信用金庫
営業部長
金融業



L中野 光一
S.40年6月2日生

栗東LC

(株)びわ湖タイル
代表取締役



L鵜飼 重明
S.25年12月20日生

栗東LC

(株)滋賀食肉市場
相談役



L岩井 俊樹
S.40年3月6日生

奈良セントラルLC

株式会社 萬春堂
代表取締役社長
菓子製造販売



L杉浦 剛
S.38年7月13日生

桜井LC

(株)南都銀行 桜井支店
支店長
金融業



L新谷 武史
S.42年11月18日生

奈良LC

(株)鹿野
代表取締役
菓子製造業・保険代理業



L大浦 哲幸
S.57年1月18日生

奈良LC

大智建設(株)
代表取締役
建設業



L大野 知行
S.45年9月12日生

奈良LC

司法書士大野法務事務所
所長
司法書士



L上田 明美
S.27年1月10日生

大和郡山LC

上田医院 北和診療所
理事長
医師



L安井 吉信
S.27年9月26日生

大和郡山LC

安井土地家屋調査士事務所
代表
土地家屋調査士



L空田 通能
S.28年12月29日生

大和郡山LC

空田経営研究所
代表
サービス業(教育)



瓊美川 勉
S.17年7月6日生

大和郡山LC

小泉神社
宮司
神職



L奥田 孝浩
S.43年8月4日生

奈良西LC

Tendy's tart
代表
飲食業



L辻井 祥子
S.31年12月27日生

大和高田LC

ぶつだんの株式会社 辻井本店
高田店 店長
仏壇販売



L森本 敏子
S.22年1月2日生

大和高田LC

(有)うな源
代表取締役
鰻小売



L吉井 昭
S.19年5月1日生

大和郡山LC

エートス法律事務所
代表
弁護士



L西川 久男
S.24年4月30日生

大和郡山LC

(株)奈良旅ネットワーク
代表取締役
旅行業



L高田 眞佐子
S.26年7月25日生

大和郡山LC

小池電機工業(株)
代表取締役
電機工業



L橋本 晴夫

S.31年11月22日生

大和磯城LC

奈良中央信用金庫 本店
本店営業部 部長
金融業



L畑 隆之

S.33年8月1日生

宇陀LC

大和信用金庫 榛原支店
支店長
金融業



L榊井 正仁

S.36年4月1日生

宇陀LC

(株)南都銀行 榛原支店
支店長
金融業

ご冥福をお祈り申し上げます



故 L中山 泰宏

五條LC
没 2014年8月19日
享年86才

ライオン歴

1977年 入会
2001年度 第38代会長
2006年度 ZC



故 L林 大克

京都乙訓LC
没 2014年8月9日
享年71才

ライオン歴

2007~
2008年度 会長
2008~
2009年度 地区年次大会
副委員長



故 L藤原 靖

京都南LC
没 2014年7月23日
享年66才

ライオン歴

1999~
2000年度 クラブ幹事
2004~
2005年度 クラブ会計
2005~
2006年度 クラブ第二副会長
2007~
2008年度 地区環境保全
副委員長



故 L齋 富三

京都桃山LC
没 2014年7月17日
享年86才

ライオン歴

1987~
1988年度 地区キャビネット
事務局次長
1991~
1992年度 クラブ会計
1997~
1998年度 地区会員
EXT副委員長



故 L関 祐則

亀岡保津川LC
没 2014年9月18日
享年67才

ライオン歴

2004年9月 入会
2008年度 クラブ会計
2010年度 クラブ幹事



故 L宇井 史朗

大和磯城LC
没 2014年9月14日
享年78才

ライオン歴

1983年 入会
1993年度 クラブ会計
1997年度 クラブ会長
2006年度 地区年次大会
副委員長
2010年度 クラブ会員理事



故 L甲津 實

京都天神川LC
没 2014年9月7日
享年75才

ライオン歴

2010年 入会



故 L田中 浩

奈良西LC
没 2014年9月2日
享年52才

ライオン歴

1996年 入会
2008年度 クラブ幹事
2011年度 地区PR情報
副委員長
2013年度 クラブ会長
(CN50周年)



故 L伊関 貞夫

彦根みずほLC
没 2014年10月22日
享年81才

ライオン歴

1981年度 クラブ会長
1993年度 クラブ会長
2001年度 地区国際・LCIF
副委員長



故 L内藤 洋義

京都洛翠LC
没 2014年10月7日
享年68才

ライオン歴

2006年度 会長
2010年度 幹事
2014年度 地区YCE・レオ
副委員長



故 L酒井 国生

亀岡LC
没 2014年9月25日
享年81才

ライオン歴

1983年10月 入会
2012年度 理事
2013年度 理事

宗旨・宗派は問いません

東山の自然に囲まれた美しい霊園

京都東山花鳥霊園

〒607-8456 京都市山科区厨子奥花鳥町1番地

TEL 075-593-7800

FAX 075-593-7710

受付時間 AM9:00~PM6:00

■管理主体/宗教法人 金蔵寺

■許可番号/京都市指令保生第55号

- お参りしやすい立地
- エレベーター完備
- 静寂な環境
- 低価格、手続きカンタン
- 全ての石碑に10年保証

お墓の移設もご相談ください



L松廣 正哉 (京都洛中LC)

贈るならやっぱり世界の一流品
ル・ノーブルでワンランク上のおもてなしを



180ブランド・30万点以上。世界のブランド洋食器を直輸入直売。

ウェッジウッド/バカラ/マイセン/ヘレンド/ロイヤルコペンハーゲン/エルメス/アウガルテン

法人様向けサービス承っております

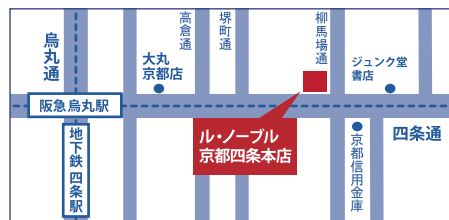
コーポレートギフト、記念品・粗品など、貴社の目的やご予算に応じてご提案致します。一流メーカーとのコラボレーションで貴社だけのオリジナル商品の開発も行います。お気軽にお問合わせください。

京都四条本店

AM11:00~PM8:00

下京区四条通柳馬場西入ル立売中-of町102-2
(四条通り大丸京都店東へ200m)

TEL:075-222-0887 FAX:075-222-0790



《東京》

有楽町店

TEL:03-3217-5525

代官山店

TEL:03-6415-1201

銀座店

TEL:03-6228-7617

《大阪》

梅田ディアモール店

TEL:06-6345-0668

梅田フコク店

TEL:06-6940-4890

《神戸》

神戸三宮店

TEL:078-230-4100

《京都》

長岡京店

TEL:075-952-2377

www.le-noble.com

貿易商社直営 輸入洋陶磁器専門店
ル・ノーブル

Le Noble

L辻 昇 (京都乙訓LC)

私たちは、大満足の家を創っています。

注文建築

建 替 え

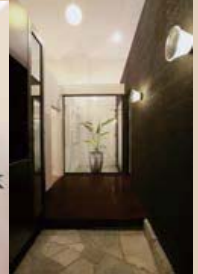
不 動 産
土 地 情 報

リフォーム

住宅展示場



ショールーム



守山住宅展示場

滋賀県守山市今宿 4 丁目 1 番 43 号
TEL:077-583-1980



暮らし発見ミュージアム

滋賀県草津市新浜町 300 番地
(イオンモール草津 スポーツ&レジャー棟)
TEL:077-516-7741



エールコーポレーション株式会社

0120-68-3190

【本 社】滋賀県草津市北大萱町 556 番地の 2
(公社)全日本不動産協会 (公社)不動産保証協会 (社)住宅保証機構
(社)近畿圏不動産流通機構 (社)近畿地区不動産公正取引協議会

滋 賀 エ ー ル

検 索

L 白井 幸則 (草津LC)



国際標準規格
ISO 9001・ISO 14001
認定取得

住まいのリフォーム
給排水設備
空調設備のことは
お任せ下さい。

MORIMURA

快適な未来へ。
やさしさと安心の技術で

給排水・空調・衛生設備・設計施工監理

株式会社 森 村 設 備

〒630-8014 奈良市四条大路三丁目2番73号
TEL (0742) 34-6400 FAX (0742) 34-7471

<http://www.morimurasetsubi.co.jp>

L 森村 彰博 (奈良西LC)

2014年10月度:会員数及び家族会員入退会一覧表

※入退会は、7-10月累計										※入退会は、7-10月累計											
			2014年度 期首	会員数	家族会員(子会員)数								2014年度 期首	会員数	家族会員(子会員)数						
R	Z	クラブ名		10月末	10月末	入会	退会		R	Z	クラブ名		10月末	10月末	入会	退会					
1	1	京都	93	92	0	0	0	5	1	5	1	亀岡	62	59	0	0	0				
		京都サウス	43	42	0	0	0					園部	32	33	0	0	0				
		京都洛南	32	34	0	0	0					綾部	23	23	0	0	0				
		京都京洛	34	35	0	0	0					亀岡保津川	33	33	0	0	0				
		京都烏丸	17	17	0	0	0					5-1合計	150	148	0	0	0				
	1-1合計	219	220	0	0	0	2					福知山	34	42	7	7	0				
	2	京都ウエスト	43	44	0	0						0	夜久野	24	23	0	0	0			
		京都室町	30	30	0	0						0	三和	18	15	0	0	0			
		京都朱雀	27	26	1	0						0	福知山東	34	34	0	0	0			
		京都賀茂	43	41	0	0	0					5-2合計	110	114	7	7	0				
		京都ミレニアム	30	31	0	0	0					舞鶴	52	53	0	0	0				
		京都グレース	30	30	0	0	0					宮津	46	44	2	0	0				
	1-2合計	203	202	1	0	0	3					網野	31	32	5	0	0				
	3	京都鴨川	83	83	5	0						0	丹後中央	18	18	0	0	0			
		京都桂	18	18	0	0						0	久美浜	26	25	0	0	0			
		京都御室	12	12	0	0						0	舞鶴みなと	19	18	0	0	0			
		京都洛翠	18	20	0	0	0					5-3合計	192	190	7	0	0				
		京都錦	32	32	0	0	0					5R合計	452	452	14	7	0				
	京都シニア	20	19	5	0	0	6					1	6	1	大津	39	40	0	0	0	
	1-3合計	183	184	10	0	0									高島	34	36	0	0	0	
1R合計	605	606	11	0	0	大津びわこ		18	18	0	0				0						
2	1	京都洛陽	64	77	12	12		0	志賀堅田	18	19				0	0	0				
		北桑田	15	15	0	0		0	瀬田	24	24				3	0	0				
		京都ときわ	13	24	10	10		0	大津比叡	17	18				2	1	0				
		京都モーニング	24	25	6	0		0	6-1合計	150	155				5	1	0				
		2-1合計	116	141	28	22		0	2	草津	68				89	20	20	0			
	京都イースト	42	42	0	0	0		近江守山		49	49				0	0	0				
	京都みやこ	17	17	0	0	0		水口		32	42				12	11	0				
	京都うずら野	36	37	0	0	0		栗東		43	44				0	0	0				
	京都日吉ヶ丘	19	19	0	0	0		甲賀		16	16				0	0	0				
	2-2合計	114	115	0	0	0		6-2合計	241	273	32				31	0					
3	京都華頂	20	28	6	6	0		6R合計	391	428	37				32	0					
	京都洛中	22	21	0	0	0		7	1	7	1				八日市	48	49	2	0	0	
	京都岡崎白川	20	21	0	0	0									近江八幡	54	56	0	0	0	
	京都セントラル	9	9	0	0	0									能登川	18	17	1	0	0	
	2-3合計	71	79	6	6	0									日野	21	21	0	0	0	
4	京都堀川	47	46	0	0	0									愛知	21	21	0	0	0	
	京都天神川	28	27	0	0	0									竜王	32	32	0	0	0	
	京都高野川	10	9	0	0	0									7-1合計	194	196	3	0	0	
	京都ニューセンチュリー	29	29	0	0	0									2	彦根	54	53	0	0	0
	京都チェリー	43	43	0	0	0										長浜	72	72	0	0	0
2-4合計	157	154	0	0	0	木之本	42					41	0	0		0					
2R合計	458	489	34	28	0	彦根金亀	28	29	0	0	0										
3	1	京都平安	32	33	0	0	0	彦根みずほ	15	15	0	0	0								
		京都橘	48	51	0	0	0	米原	22	21	0	0	0								
		京都ノース	42	42	0	0	0	7-2合計	233	231	0	0	0								
		京都洛北	24	26	0	0	0	7R合計	427	427	3	0	0								
		京都洛央	12	12	0	0	0	1	奈良	43	46	1	0	0							
	3-1合計	158	164	0	0	0	桜井		46	46	0	0	0								
	2	京都葵	30	30	0	0	0		天理	50	50	1	0	0							
		京都紫明	49	49	0	0	0		奈良セントラル	38	44	7	8	1							
		京都ロイヤル	42	45	9	1	0		8-1合計	177	186	9	8	1							
		京都パレス	29	30	0	0	0	2	生駒	19	17	0	0	0							
	京都薫風	22	22	0	0	0	奈良ウエスト		36	35	0	0	0								
	3-2合計	172	176	9	1	0	大和郡山		50	60	3	3	0								
	3	京都乙訓	37	37	0	0	0		斑鳩	11	13	2	2	0							
		京都洛西	21	19	0	0	0		8-2合計	116	125	5	5	0							
		京都嵐山	17	22	0	0	0	8R合計	293	311	14	13	1								
		京都嵯峨野	14	16	0	0	0	8	1	8	1	大和高田	47	49	0	0	0				
京都西の丘		17	18	0	0	0	橿原					65	78	13	13	0					
京都みやび	10	9	0	0	0	宇陀	22					22	0	0	0						
3-3合計	116	121	0	0	0	北葛城	10					10	0	0	0						
3R合計	446	461	9	1	0	御所	17					17	0	0	0						
4	1	京都桃山	64	64	0	0	0					大和磯城	32	31	0	0	0				
		京都洛東	35	47	17	14	1					香芝	33	33	0	0	0				
		京都醍醐	39	38	0	0	0					9-1合計	226	240	13	13	0				
		京都むらさき	57	59	0	0	0					2	吉野	17	24	0	0	0			
		山城	30	30	5	0	0						五條	29	28	0	0	0			
	城陽	28	28	0	0	0	9-2合計	46	52	0	0		0								
	2	綴喜	46	48	12	0	0	9R合計	272	292	13	13	0								
		京都やわた	27	30	5	5	0	地区合計	3,823	3985	195	130	2								
		4-2合計	131	136	22	5	0	9	1	9	1	宇治	36	34	1	0	0				
		3	京都淀	38	56	17	17					0	京都北	10	11	1	0	0			
宇治川			10	11	1	0	0					京都鳥羽	26	27	0	0	0				
京都鳥羽	26		27	0	0	0	京都城南					24	28	0	0	0					
京都城南	24		28	0	0	0	京都王仁					19	19	2	0	0					
京都王仁	19		19	2	0	0	4-3合計					153	175	21	17	0					
4-3合計	479		519	60	36	1	4R合計					479	519	60	36	1					